

IIXIL テラスSC 壁付タイプ 造り付けバルコニー用屋根タイプ 基本 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

🙏 お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

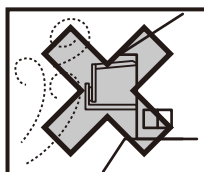
※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴うおそれがありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・本製品は設置階により設置可能な■設置可能最大出幅サイズが決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。他社商品（バルコニーなど）と組合わせて設置しないでください。

設置階	躯体出幅
2階	9尺
3階	7.5尺
- ・設置場所の確認をしてください。
 - ※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行なってください。
- ・外壁についている樋や配管などは避けて取付けてください。樋や配管を傷つける原因になります。
- ・既設のシャッターボックスのメンテナンススペースが確保できていることを確認した上で施工してください。確保できない場合、メンテナンスができなくなることがあります。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・施工前に下の二次元コードより施工上の注意点を確認してください。



施工説明動画（準備編）



施工説明動画（施工編）



🙏 お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

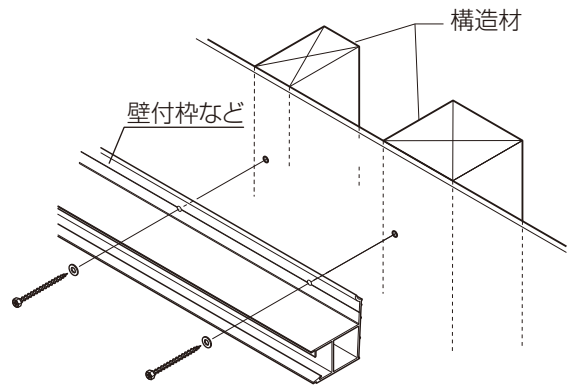
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・壁付枠、柱固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- ・躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけに固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ・ボルト、ねじは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ねじ : 2.0N・m±0.2N・m

※φ5ねじ : 3.0N・m±0.2N・m

※M6ボルト : 7.5N・m±0.2N・m

※M8ボルト : 10.0N・m±0.2N・m



- ・水濡れの原因になりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行なってください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業 (株)	シーラント 72
モモンティフ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン (合)	トスシール 380
ダウ・東レ (株)	SE960

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※取付け時は、必ず足場を設けてください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※バルコニーに運び入れる際は、重量を確認し無理のない範囲で運搬してください。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ・柱固定部品(腰壁側)の取付け時にロングドライバー(200mm以上)を使用しますのでご用意ください。
- ・組立施工時、施工チェックポイントを確認し、確実に施工されていることを確認してください。正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより使用者などがケガを負うおそれや漏水の原因となります。

< 施工の後に >

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

INDEX	3	水切り対応	39
特殊工具	3	■水切り下端～FLまで120mm以下の場合	39
表示マーク	3	■水切り下端～FLまで120mm以上の場合	41
施工の流れ	4	梱包明細表	42
施工チェックポイント	5		
シーリング箇所一覧	8		
各部の名称	10		
基本タイプの施工	12		
■基本の確認事項	12		
1 事前準備	15		
2 壁付枠の取付け	23		
3 柱固定部品ベース材の取付け	24		
4 柱固定部品(腰壁側)の取付け	24		

〈壁付枠上端と軒の距離が340mm以上の場合〉	25		
5 柱の取付け	25		
6 梁柱固定金具と梁の取付け	26		

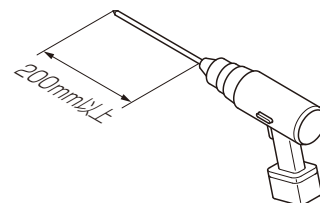
〈壁付枠上端と軒の距離が340mm以下の場合〉	27		
5 梁柱固定金具と梁の取付け	27		
6 柱の取付け	28		

7 梁と壁付枠の仮固定	29		
8 屋根材の取付け	30		
9 後枠の取付け	32		
10 造り付け用側枠の取付け	33		
11 柱固定部品カバー取付け材の取付け	34		
12 柱カバーの取付け	38		
13 柱下部キャップの取付け	38		

特殊工具

●本製品を施工する際は下記を準備しておいてください。

ロングドライバービット(200mm以上)



表示マーク



柱位置を移動して
施工の場合



オプション
製品



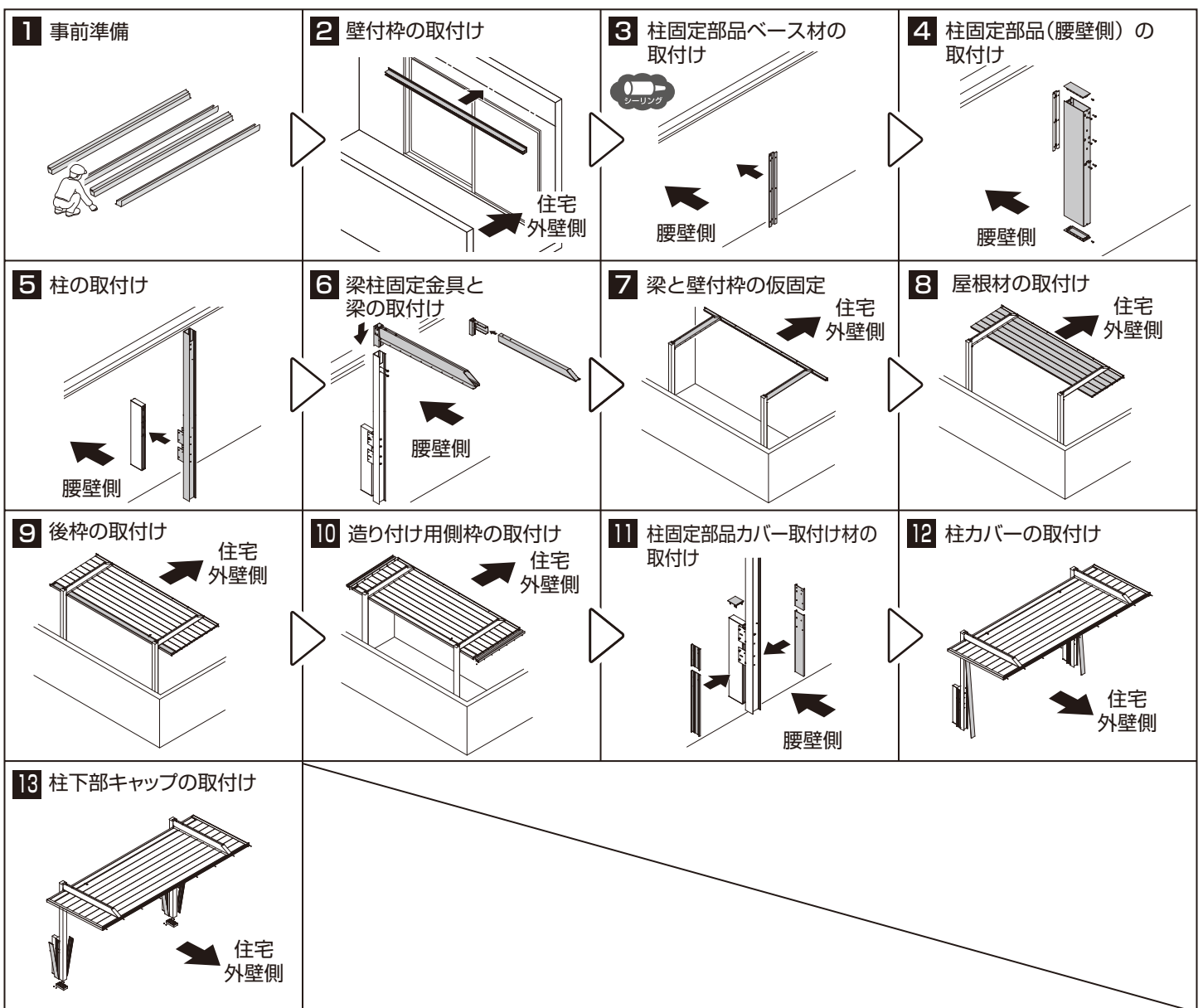
シーリング
箇所



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 「テラスSC 屋根照明(壁付タイプ 造り付けバルコニー用屋根タイプ) 取付説明書(MAN-723)」
- 「スタイルシェード[アルミ屋根付用] 取付説明書(MAN-704)」
- 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付説明書(M942)」
- 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
- 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」
- 「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド・SC) 取付説明書(D560)」
- 「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」

施工の流れ



施工チェックポイント

重要

- ・組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
- ・正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより、使用者などがケガを負うおそれがあります。

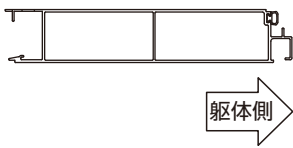
① 梱包の向きの確認

チェック欄

- 矢印の向きに従って梱包を配置していますか？
※矢印の向きに梱包を配置することで
屋根材の嵌合方向が統一され、
施工しやすくなります。

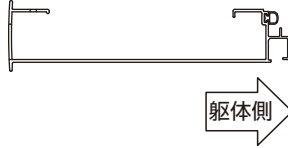
P.30

●屋根材

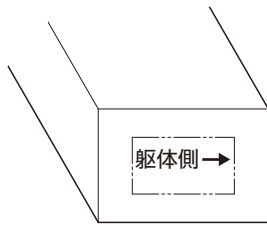


躯体側

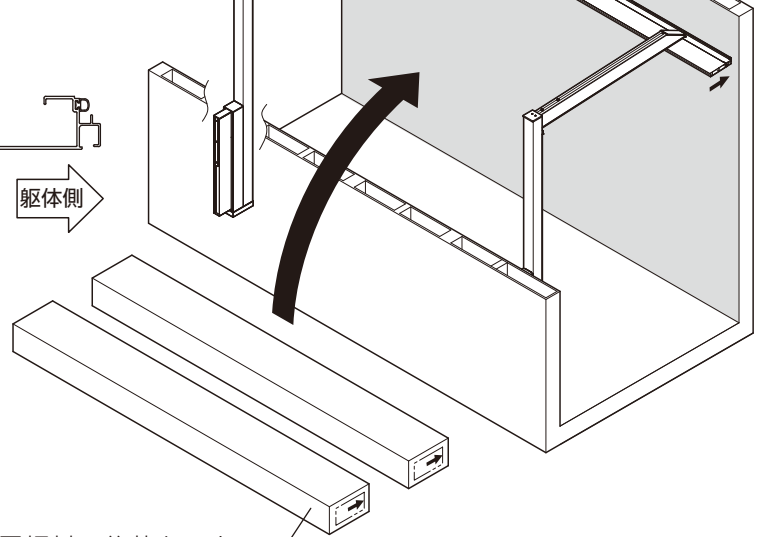
●後枠



躯体側



屋根材・後枠セット



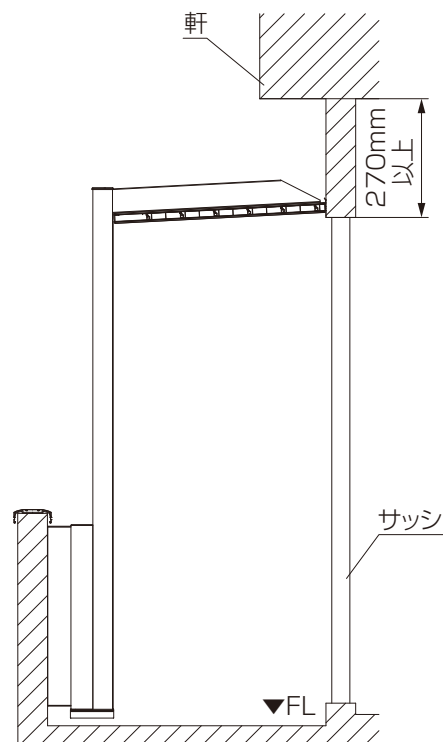
屋根材・後枠セット

② 屋根部まわりの障害物の確認

チェック欄

- サッシ上から軒下までの高さは
270mm以上ありますか？
※シャッター付きの場合、
シャッター上部から軒下までの
寸法が400mm以上必要です。

P.12



次ページに続く

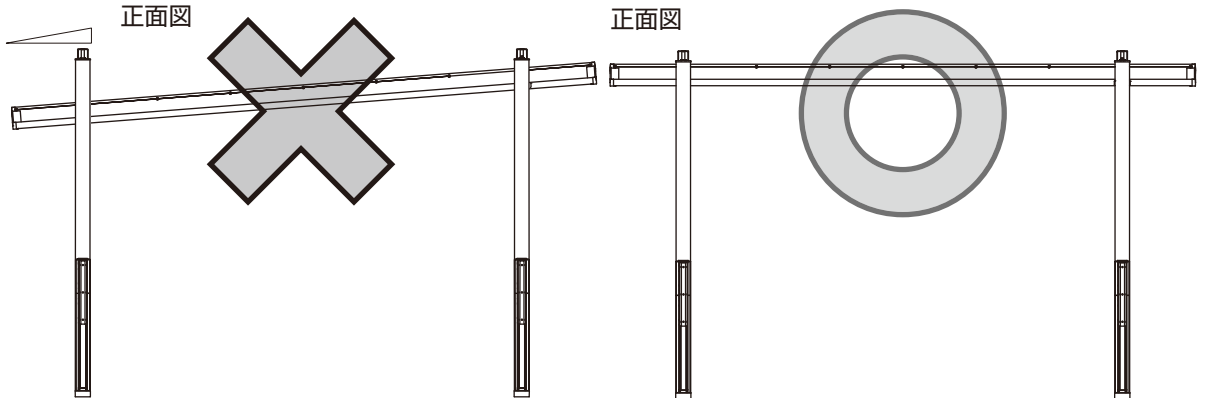
③屋根部の水平・直角確認

チェック欄

●屋根部は“水勾配なし”になっていますか？

※排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまり、雨漏れの原因になります。

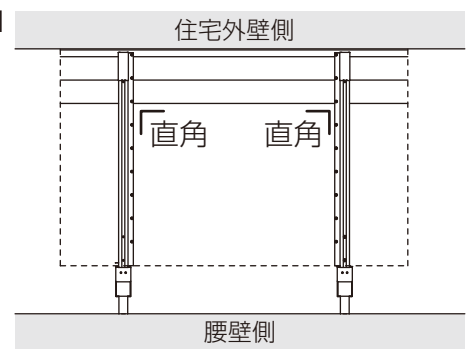
P.12



●屋根部と梁が直角になっていますか？

※屋根材が取付けできないことがあります。

平面図



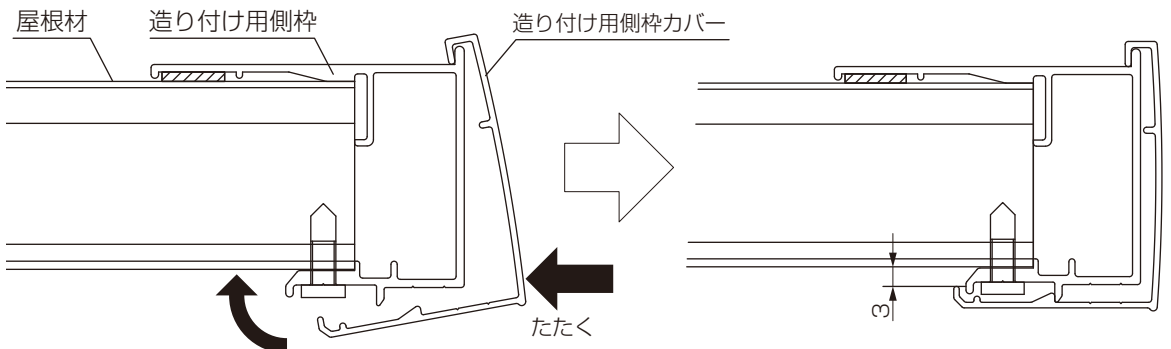
④造り付け用側枠と造り付け用側枠カバーの嵌合状態の確認

チェック欄

●造り付け用側枠カバーと屋根材の隙間が3mmであることを確認してください。

※正しく取り付けしていないと造り付け用側枠カバーの落下の原因となります。

P.33



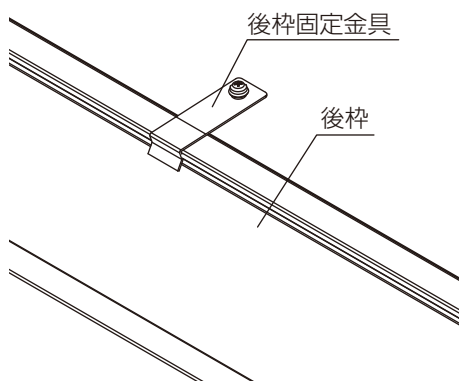
⑤後枠固定金具と後枠の取付状態の確認

チェック欄

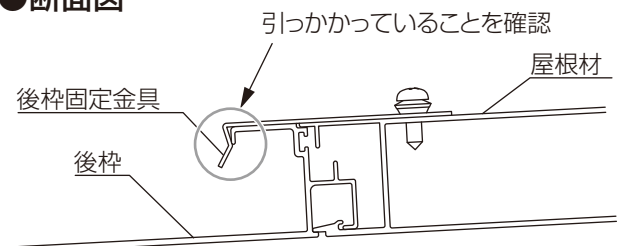
●後枠に後枠固定金具が組付いていることを手で確認してください。

※漏水の原因になります。

P.32



●断面図

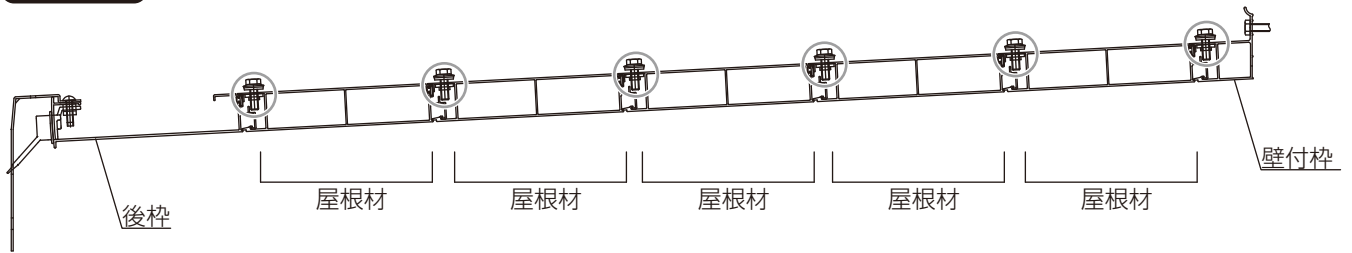


次ページに続く

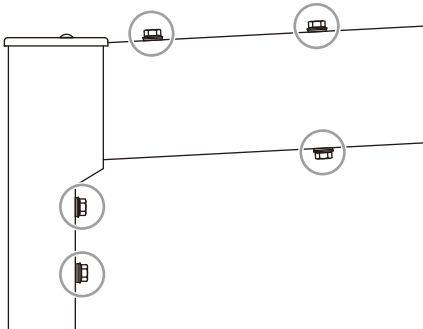
⑥ 施工中、ボルト・ねじの締め忘れがないか確認

チェック欄

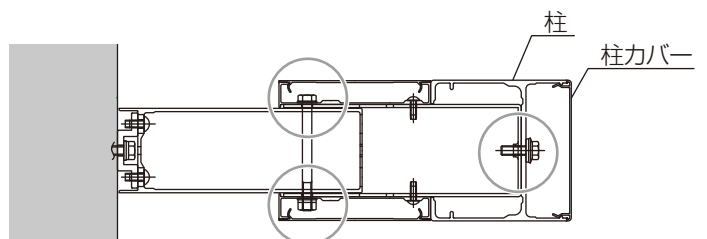
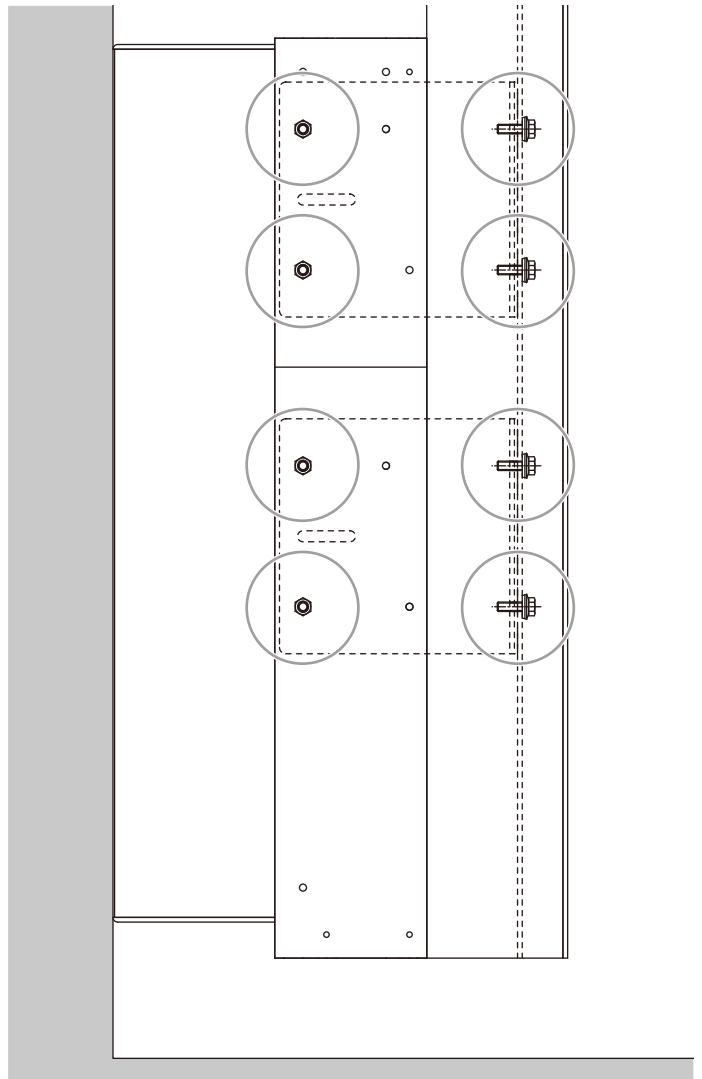
- 柱・梁のボルトと、屋根材・壁付枠と梁を取付けているボルト、柱固定部品のボルトに緩みがないか確認してください。
※ 屋根のバタつきや漏水の原因になります。



● 梁柱固定金具



● 柱固定部品



シーリング箇所一覧

① 造り付け用後枠コーナーキャップ

チェック欄

造り付け用
後枠コーナーキャップ

P.20

シーリング

後枠

内側から見る

外側から見る

② 造り付け用側枠

チェック欄

シーリング

P.33

※造り付け用側枠の両端部に
シーリングが必要です。

⑩ 雨樋穴ふさぎキャップ

チェック欄

シーリング

P.19

雨樋穴ふさぎ
キャップ

下面

雨樋穴ふさぎ
キャップ

後枠

下から見る

⑨ 柱固定部品ベース材

チェック欄

シーリング

P.24

φ4.5下穴

【11-5】M6用平座金

【11-4】M6用ばね座金

【11-6】φ6×90
六角タッピンねじ1種

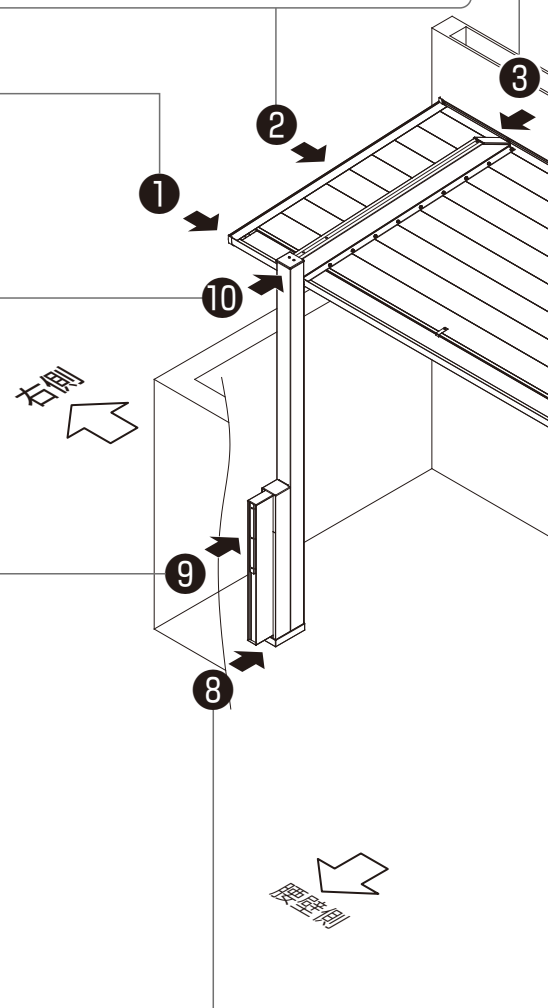
腰壁側

⑧ 柱下部キャップ

チェック欄

シーリング

P.38



③ 梁キャップ

チェック欄

シーリング

梁キャップ

梁方向から裏面を見た図

P.20

④ 壁付枠

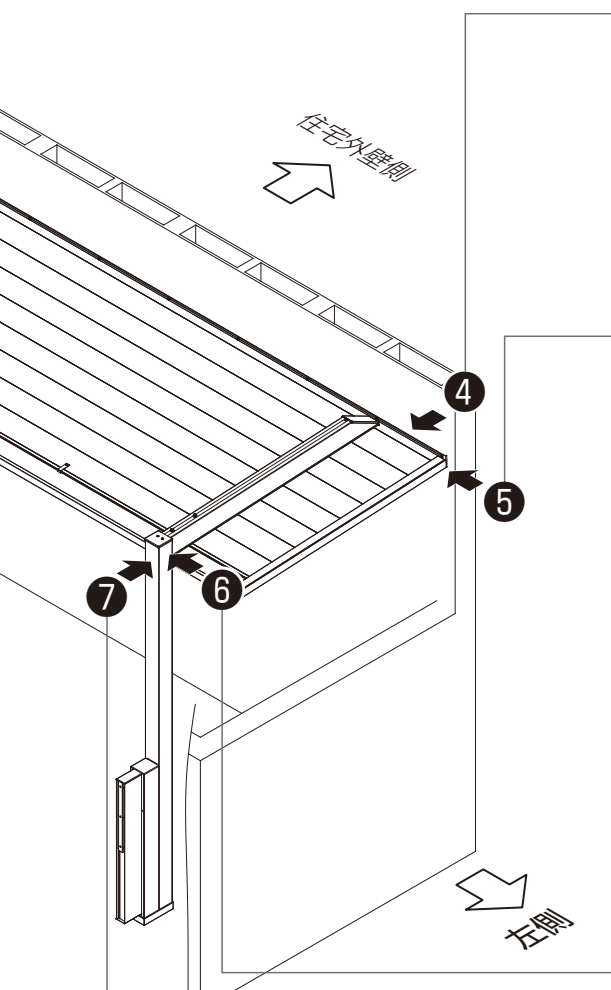
チェック欄

シーリング

壁付枠

構造材

P.23



⑤ 造り付け用壁付枠コーナーキャップ

チェック欄

シーリング

壁付枠

造り付け用壁付枠コーナーキャップ

P.18

P.30

住宅外壁側

P.33

住宅外壁側

造り付け用側枠

造り付け用側枠カバー

⑦ 集水部品

チェック欄

シーリング

集水部品

集水部品背面

P.19

⑥ 柱上部キャップ

チェック欄

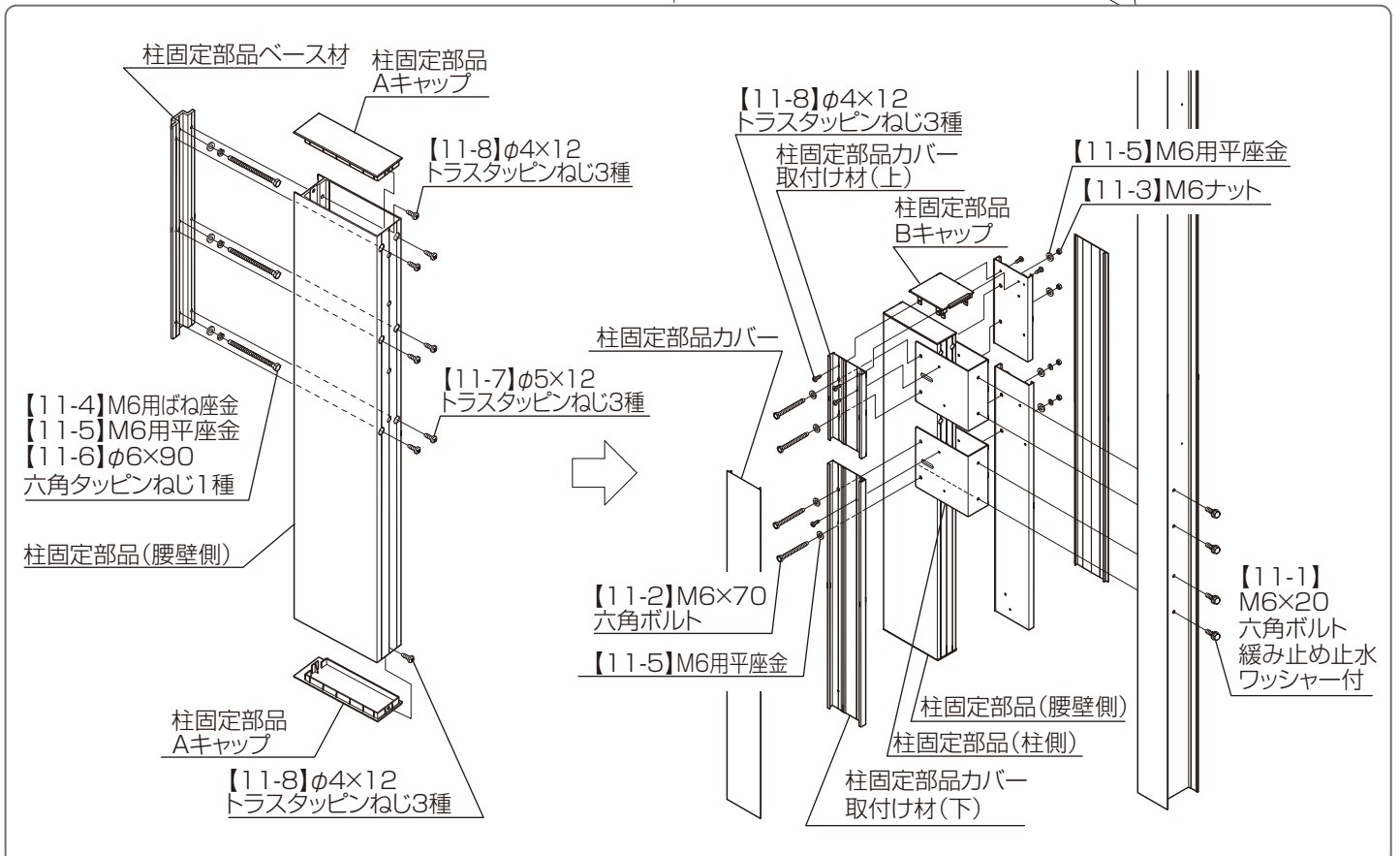
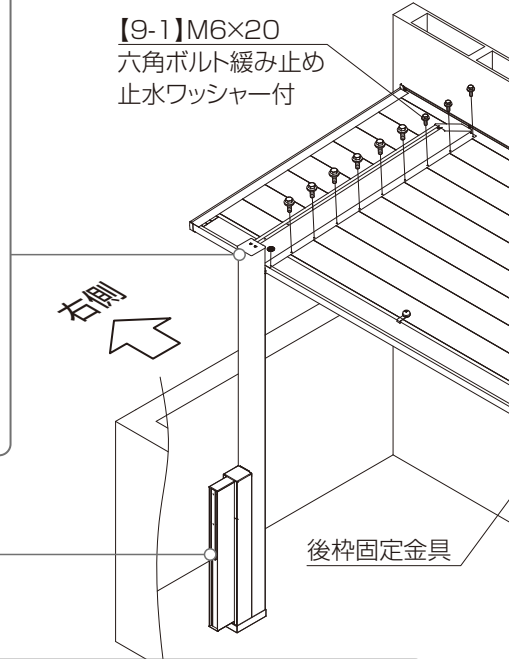
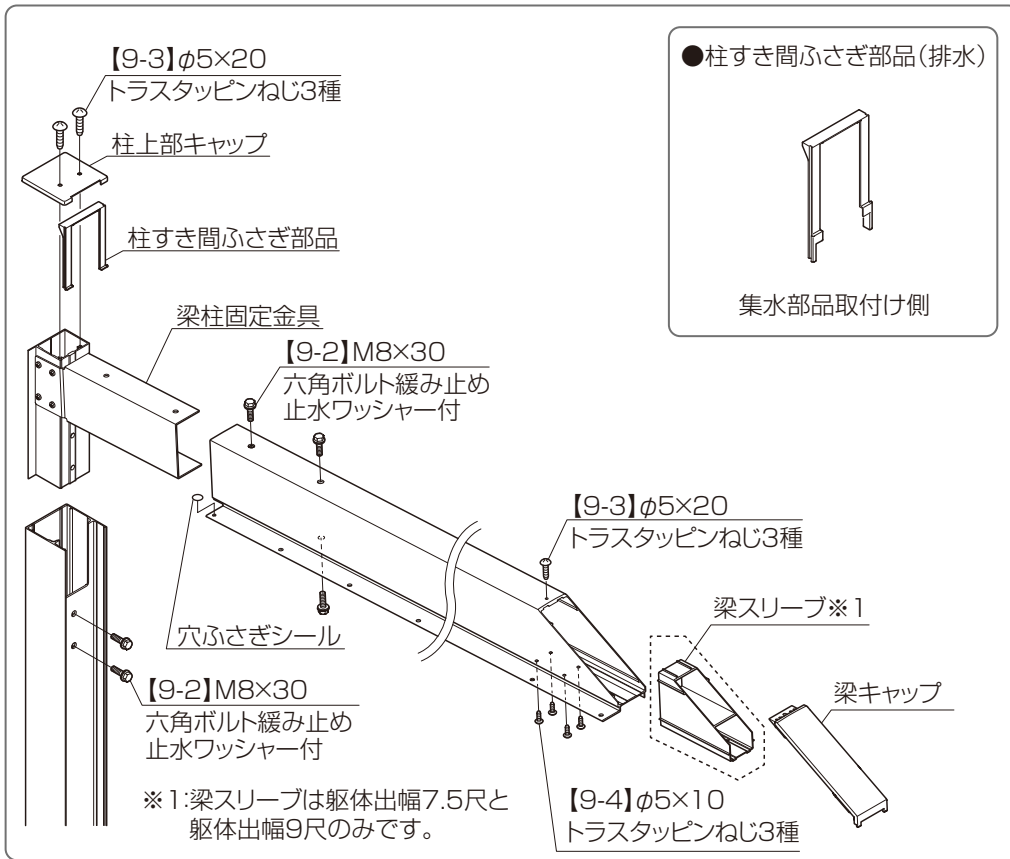
シーリング

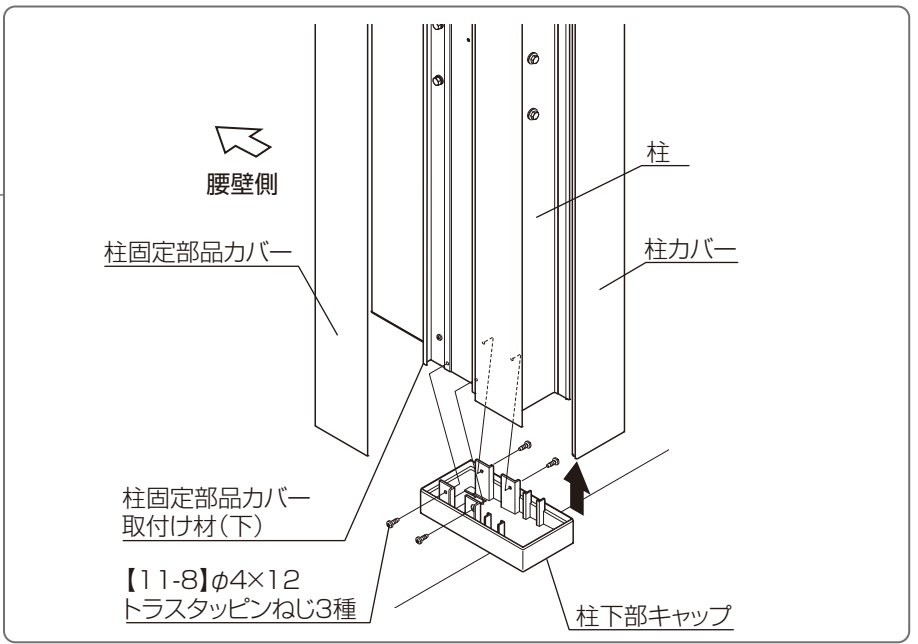
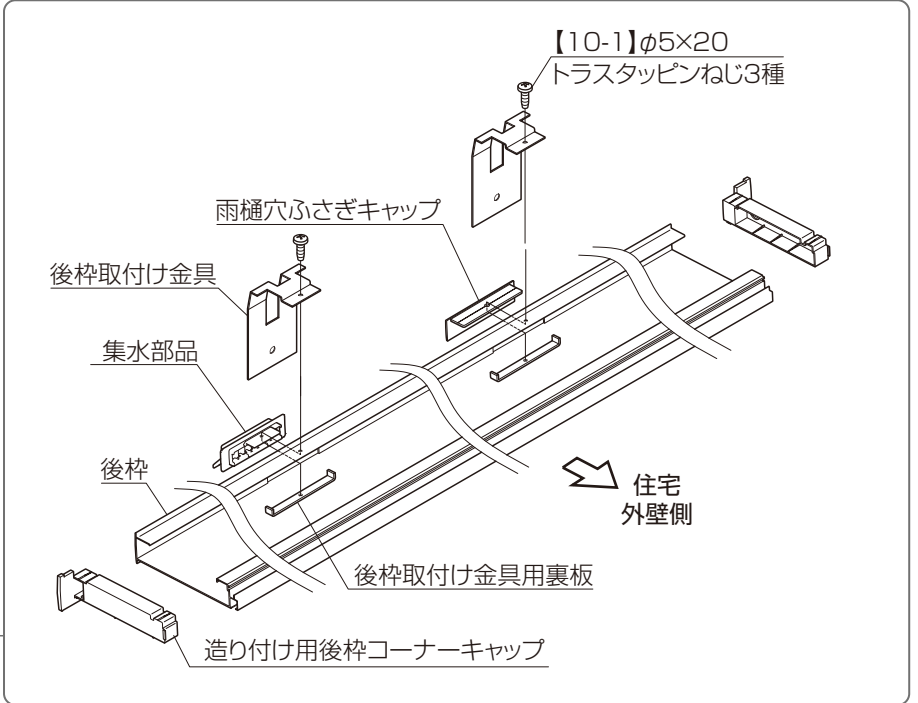
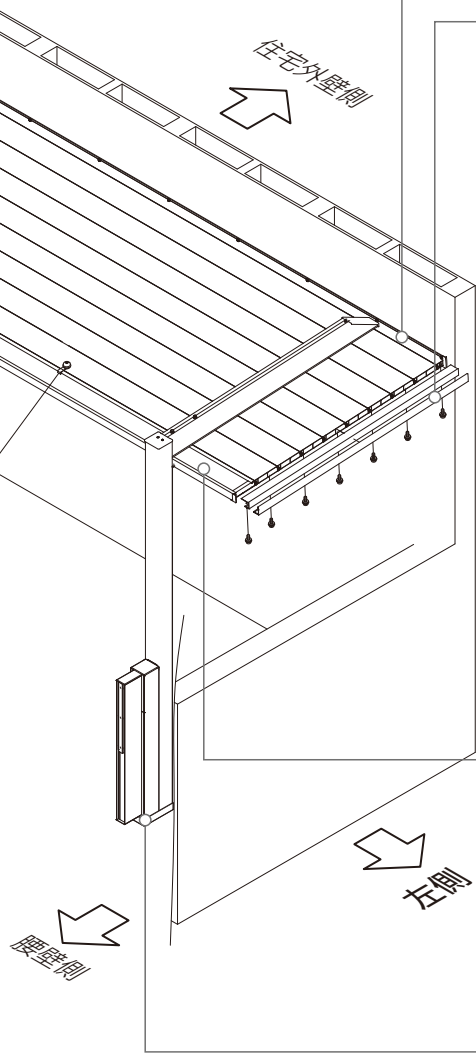
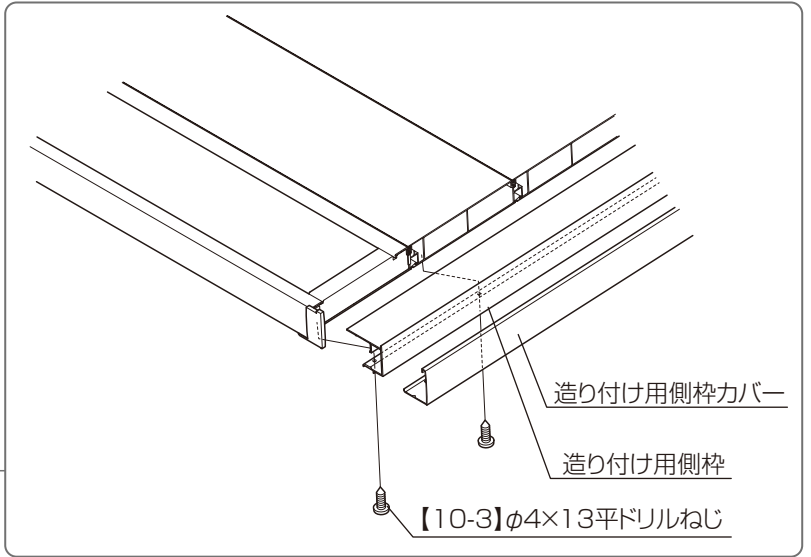
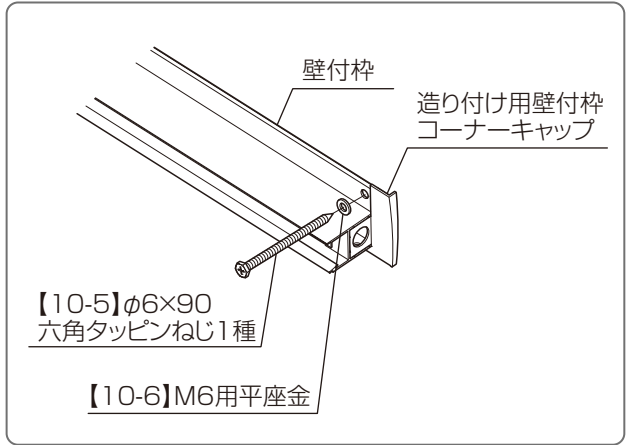
柱上部キャップ

【9-3】φ5×20
トラスタッピンねじ3種

P.29

各部の名称





基本タイプの施工

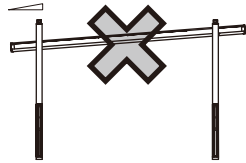
基本の確認事項

☐ 姿図

お願い

屋根部に水勾配はつけないでください。

排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまることがあります。



チェックポイント③

⚠ 注意

OP
17/20



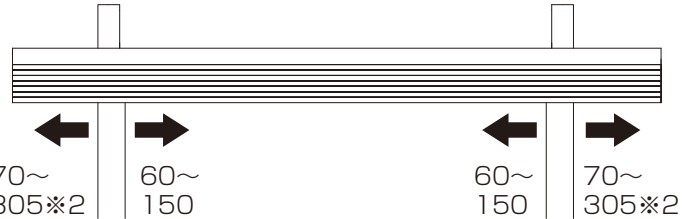
柱移動の場合の作業です。

【柱移動】をする場合

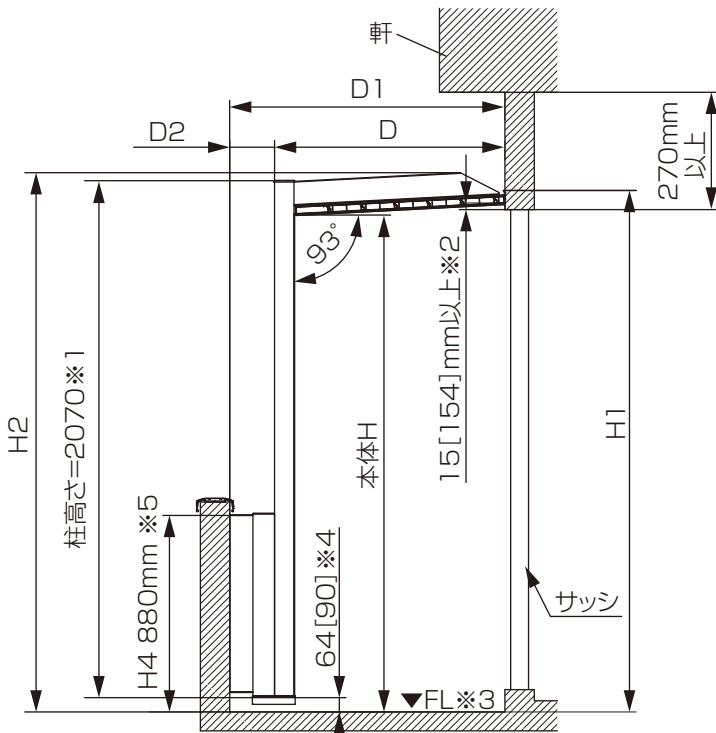
●柱は外側305mm、内側150mm以内で移動してください。ただし、柱外側70mm、柱内側60mmの範囲は移動できません。※1

●柱を101mm以上移動させる場合、両側の柱を均等に移動させてください。

※1:他の部材と干渉するため、取付け不可となります。



※2:柱移動をする場合は、1.5~2.5間のみです。



H1:FL~壁付枠上端

H2:FL~梁上端

H4:FL~柱固定部品ベース材上端

※デッキの上に納める場合はデッキ上面をFLとしてください。

※1:柱の高さはバルコニー柱H20の場合を示しています。

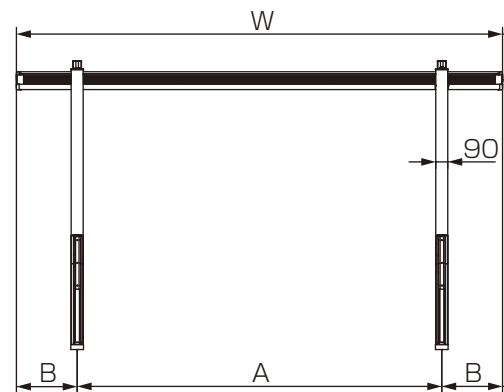
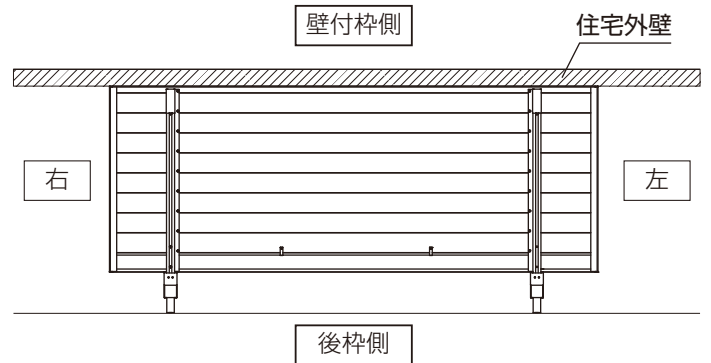
H22の場合は+245mmとなります。

※2:[]寸法はシャッターがある場合の寸法です。

※3:FLは水下側で計測してください。

※4:[]寸法はデッキの上に納める場合の寸法です。

※5:H4は650mm以上にしてください。

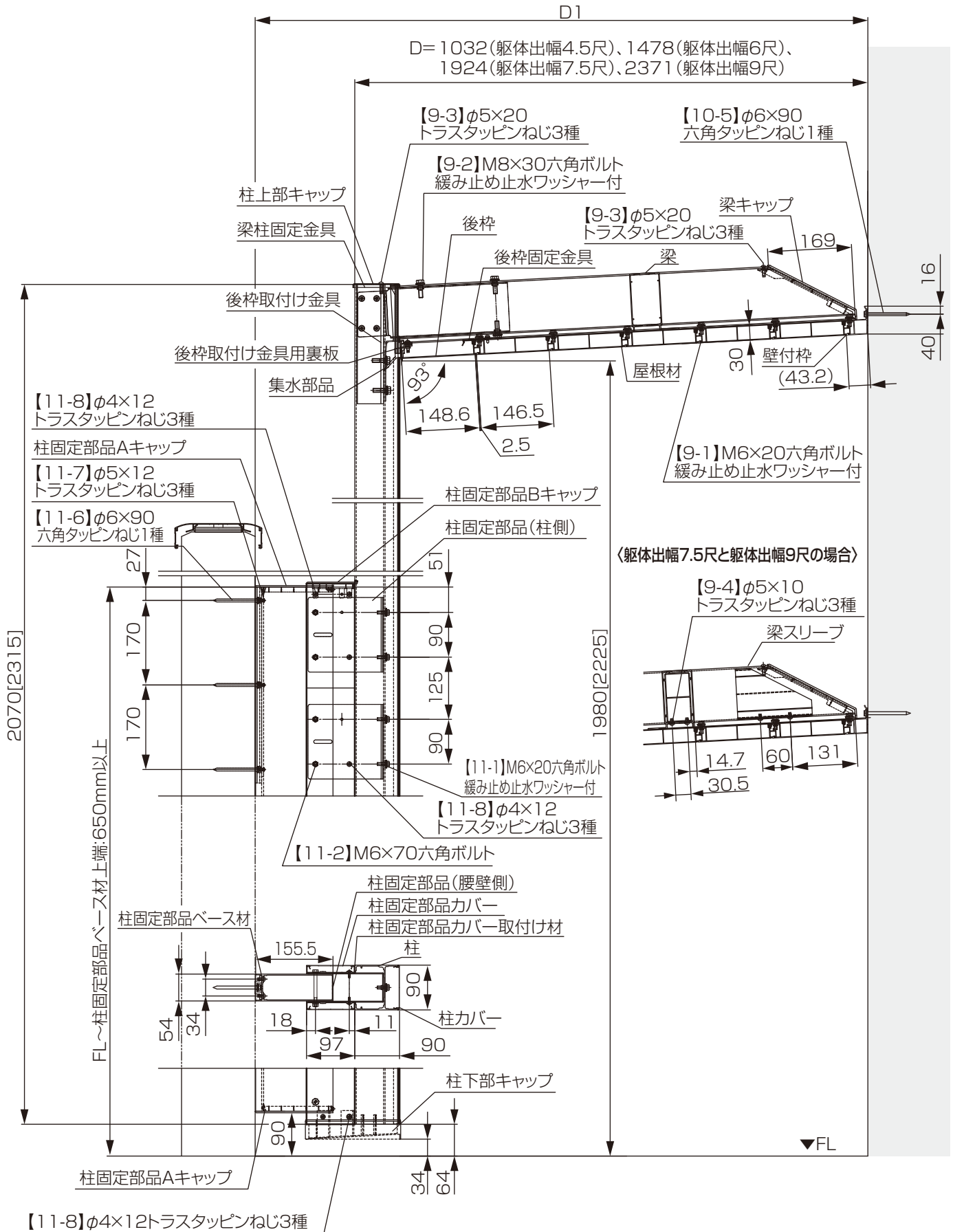


躯体 出幅	D	D1	D2	H1		H2	
				H20	H22	H20	H22
4.5尺	1032	1139~1232	107~200	2090	2335	2173	2418
6尺	1478	1594~1687	116~209	2114	2359	2196	2441
7.5尺	1924	2049~2142	125~218	2137	2382	2219	2464
9尺	2371	2504~2597	133~226	2160	2405	2243	2488

間口	W	A	B
1.5間	2767	1820	473.5
2.0間	3677	2730	473.5
2.5間	4587	2730	928.5
3.0間	5497	3640	928.5

□ 基本納まり図

● 出幅方向



※:[]寸法はバルコニー柱H22の場合を示しています。

□ 壁付枠位置の墨出し

壁付枠上端～軒まで184mm以上確保した位置に墨出しをしてください

※開口部にシャッターがある場合はシャッター～壁付枠上端まで210mm以上確保してください。寸法を確保しないと、シャッターが干渉し屋根材が取付けられないことがあります。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

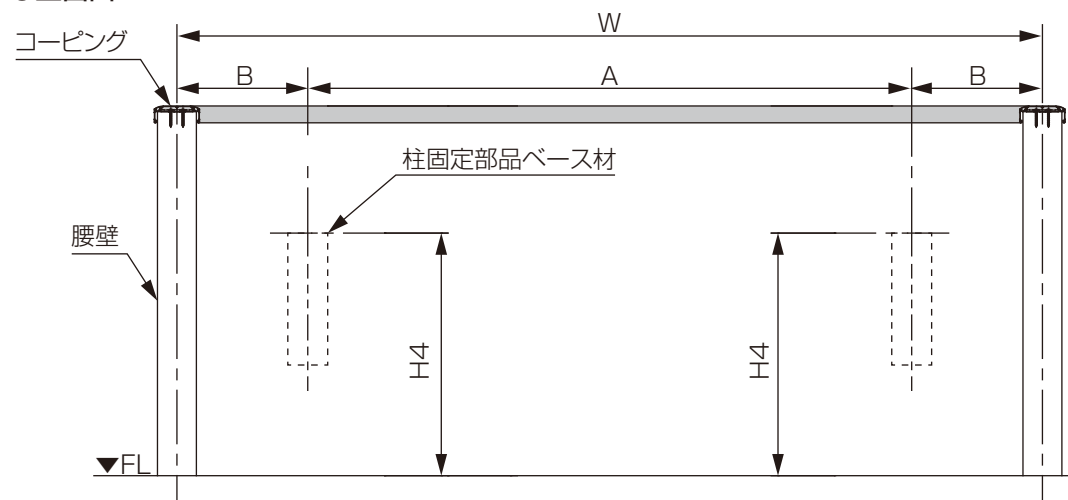
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」



□ 柱固定部品ベース材位置の墨出し

下図の寸法を参考にして、柱固定部品ベース材の取付位置の墨出しをしてください。

●正面図



躯体出幅	ベース材上端 H4	
	H20	H22
4.5尺	H1-1210	H1-1455
6尺	H1-1234	H1-1479
7.5尺	H1-1257	H1-1502
9尺	H1-1280	H1-1525

H4は650mm以上
880mm以下にしてください。

間口	W	A	B
1.5間	2767	1820	473.5
2.0間	3677	2730	473.5
2.5間	4587	2730	928.5
3.0間	5497	3640	928.5

※本図はバルコニー内観図です。

□ 柱を特注する場合

発注時に確認したH1に基づいて取付けてください。

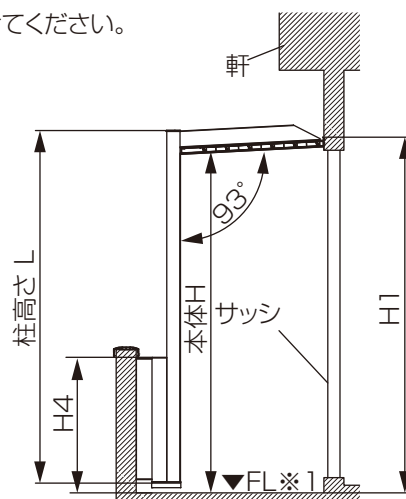
寸法は下記表となります。

■寸法表

躯体出幅	H1	本体H	H4
4.5尺	H1	H1-110	880
6尺		H1-134	
7.5尺		H1-157	
9尺		H1-181	

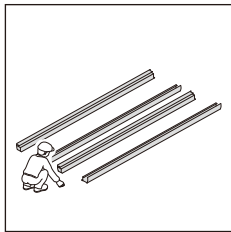
H1:FL～壁付枠上端

H4:FL～柱固定部品ベース材上端



※1:FLは水下側で計測してください。

1 事前準備



柱移動をする場合、P.21を参照して部材を加工してください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明(壁付タイプ 造り付け/バルコニー用屋根タイプ)取付説明書(MAN-723)」
 「スタイルシェード【アルミ屋根付用】取付説明書(MAN-704)」
 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付説明書(M942)」
 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」
 「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド-SC) 取付説明書(D560)」
 「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」

お願い

〈デッキ接続(デッキイン)の場合〉

デッキを横張りする場合、テラス柱と腰壁の間のデッキを事前に取付ける必要があります。

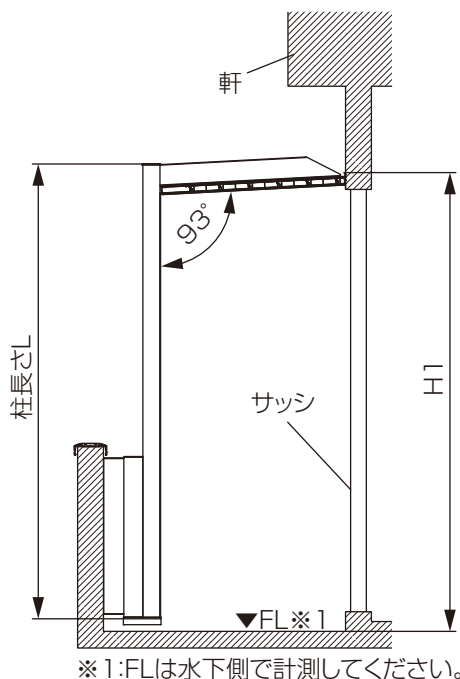
また、加工内容も異なりますので、事前に必ず「テラス(デッキ接続)取付説明書(MAN-705)」を参照ください。

お願い

腰壁に水切りがある場合は加工内容が異なります。P.39を参照ください

1 柱と柱カバーの切詰め

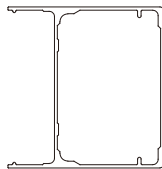
右図の寸法公式を参照して柱長さLを計算し、柱下部を切り詰めてください。



躯体出幅	柱長さL
4.5尺	H1-20
6尺	H1-44
7.5尺	H1-67
9尺	H1-91

※デッキの上に納める場合は柱長さをL-26としてください。

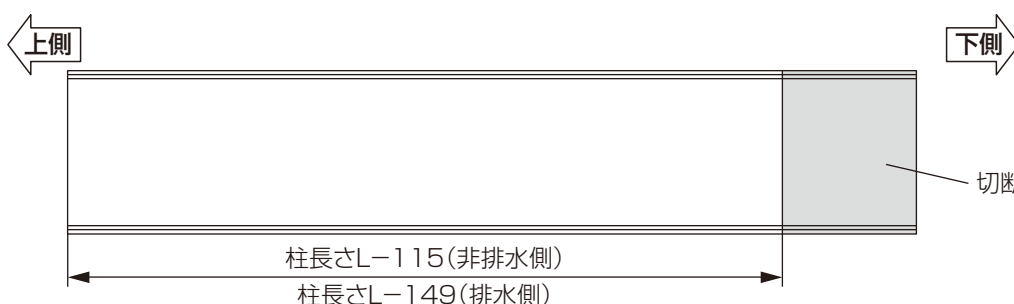
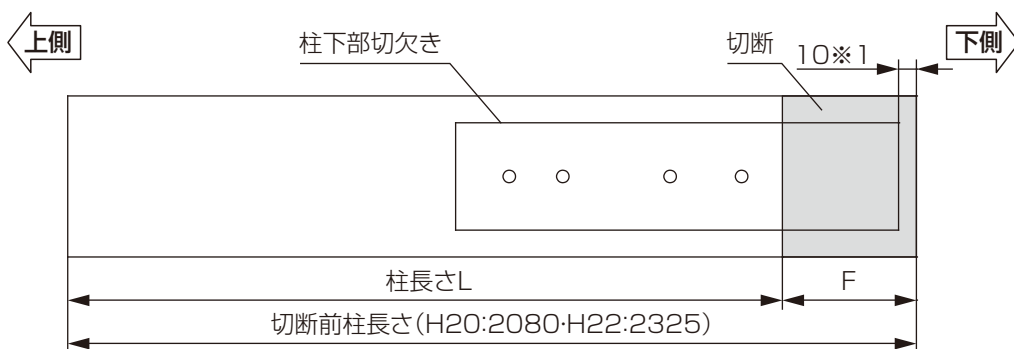
●柱



※1:柱の下端の10mmは必ず切断してください

●柱カバー

柱長さLをもとに、柱カバーの切詰を行ってください。



2 柱固定部品の加工（腰壁側に水切りがない場合）

※デッキ接続（デッキイン）の場合加工方法が異なります。
 「テラス（デッキ接続）取付説明書（MAN-705）」を参照ください。
 ※水切りがある場合はP.39を参照ください。

補 足



水切りがある場合P.39を参照してください。



下記のオプションを取付ける場合は、
 対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラス（デッキ接続）取付説明書（MAN-705）」

※柱固定部品の養生テープをはがしてください。

●柱固定部品（腰壁側）

- ①柱の切詰寸法Fをもとに、柱固定部品（腰壁側）を切詰めてください。
- ②柱固定部品（腰壁側）の下部に $\phi 3.5$ 、 $\phi 5$ 柱固定部品Aキャップ取付穴、 $\phi 6$ 水抜き穴をあけてください。

⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱固定部品が破損する原因になります。

お願い

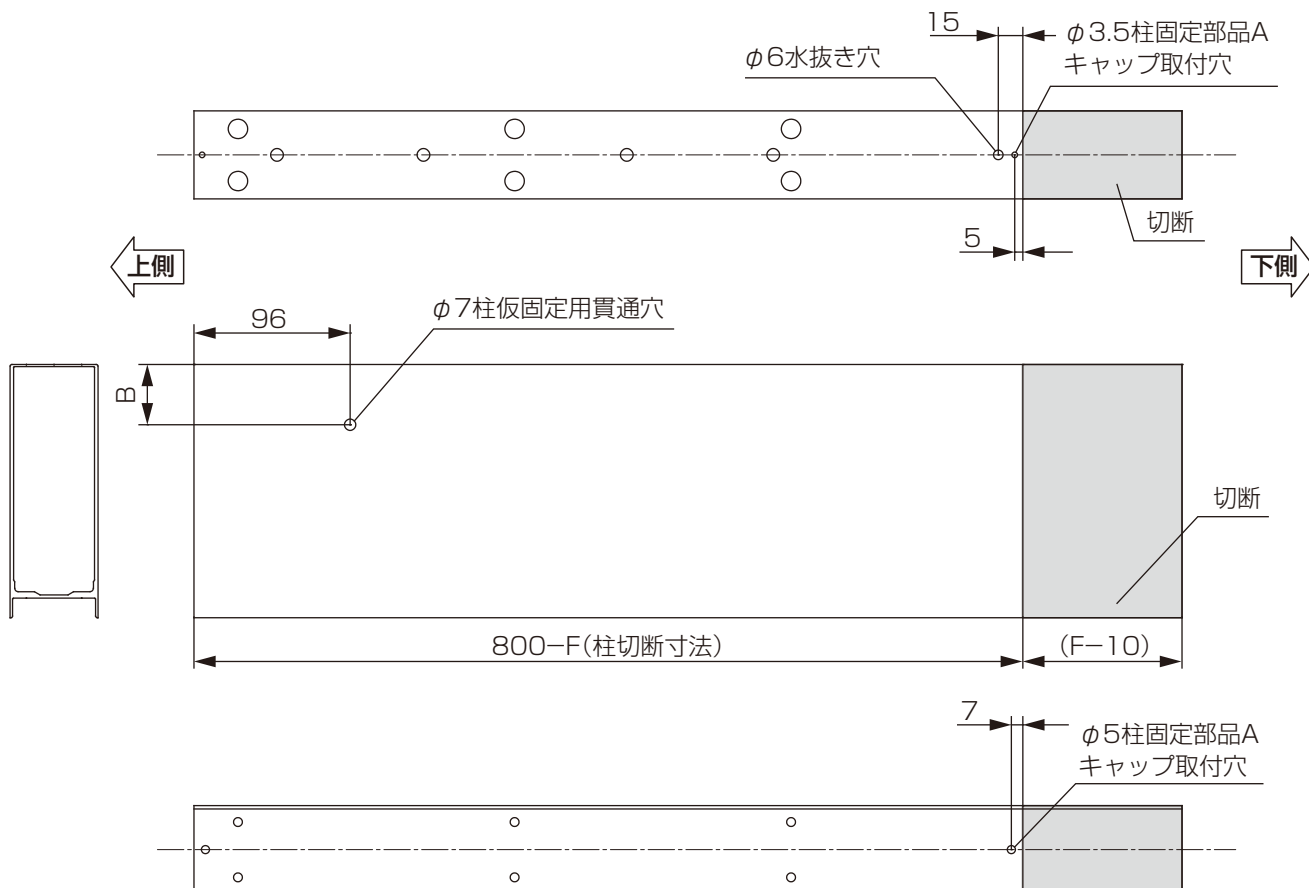
柱固定部品Aキャップ取付穴をあけないと、キャップが取付できません。

- ③下表を参照してB寸法を計算し、柱固定部品（腰壁側）の両側に $\phi 7$ 柱仮固定用貫通穴を開けてください。

※Bが9以下の場合Bを9として加工してください。

躯体出幅	B	D1
4.5尺	1253-D1	1139~1232
6尺	1699-D1	1594~1687
7.5尺	2145-D1	2049~2142
9尺	2592-D1	2504~2597

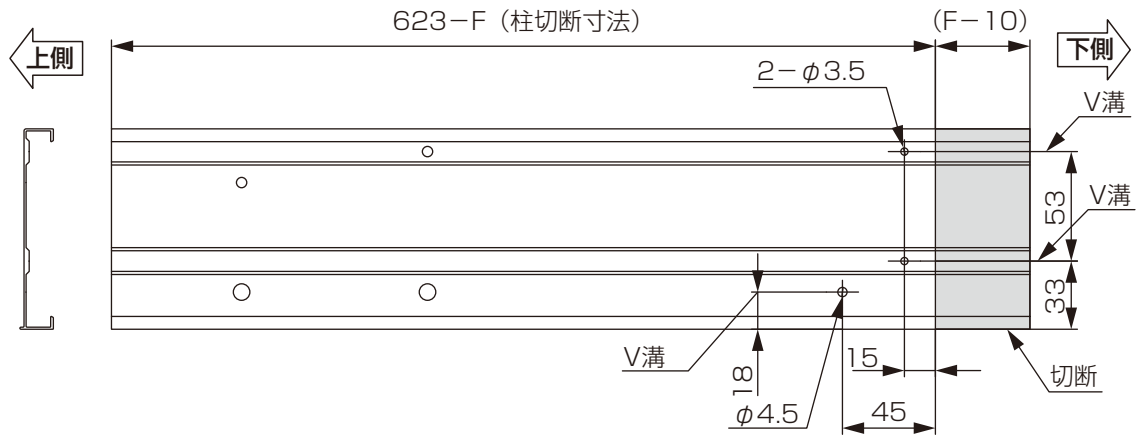
D1:住宅外壁から腰壁内面までの寸法。



2 柱固定部品の加工（腰壁側に水切りがない場合）（つづき）

●柱固定部品カバー取付け材（下）

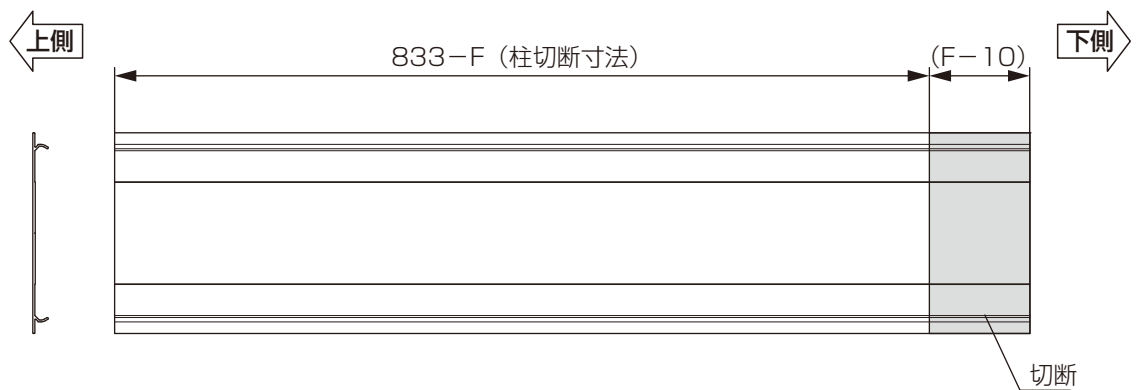
- ①柱の切詰寸法Fをもとに、柱固定部品（腰壁側）を切詰めてください。
- ②柱固定部品カバー取付け材（下）の下部に $\phi 3.5 \cdot \phi 4.5$ 穴を開けてください。



※上図はLを示します。Rは上図と対称に加工してください。

●柱固定部品カバー

柱の切詰寸法Fをもとに、柱固定部品カバーを切詰めてください。

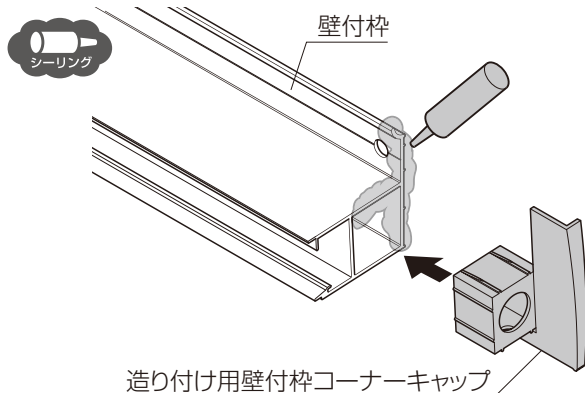


3 壁付枠への部品の取付け



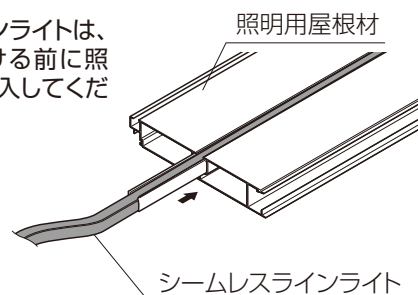
柱移動をする場合、
P.21を参照して
部材を加工してください。

- ①壁付枠にシーリングし、造り付け用壁付枠コーナーキャップを取付けてください。



お願い

シームレスラインライトは、
屋根材を組付ける前に照
明用屋根材に挿入してくだ
さい。

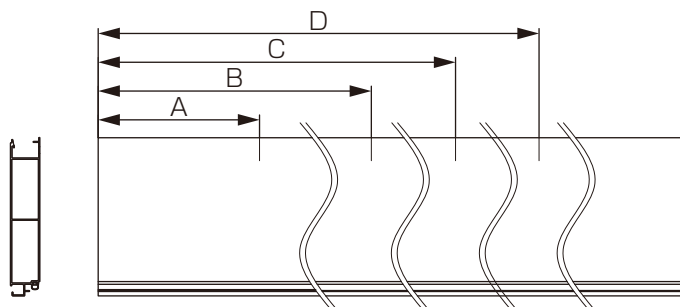


挿入方法は「テラスSC 屋根照明(壁付タイプ 造り付け
バルコニー用屋根タイプ)取付説明書(MAN-723)」を
参照してください。

4 屋根材・照明用屋根材への部品取付け

※最後に取付ける屋根材または照明用屋根材のみの手順となります

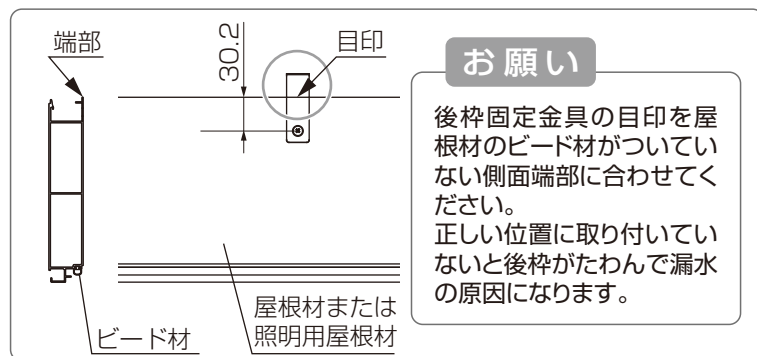
- ①最後に取付ける屋根材または照明用屋根材に部品取付位置の墨出しをしてください。



※断面は標準の屋根材で表しています。

間口	個数	A	B	C	D
1.5間	2	1059	1666	—	—
2.0間	2	1362.5	2272.5	—	—
2.5間	4	464	1817.5	2727.5	4081
3.0間	4	464	2121	3334	4991

- ②事前に最後の屋根材または照明用屋根材へ後枠固定金具を【10-2】で取付けてください。



お願い

後枠固定金具の目印を屋
根材のビード材がついてい
ない側面端部に合わせてく
ださい。
正しい位置に取り付けてい
ないと後枠がたわんで漏水
の原因になります。

⚠ 注意

後枠固定金具は必ず事前に取付けてください。
後枠がたわんで漏水の原因になります。

【10-2】φ4×13

ナベドリルねじ止水ワッシャー付

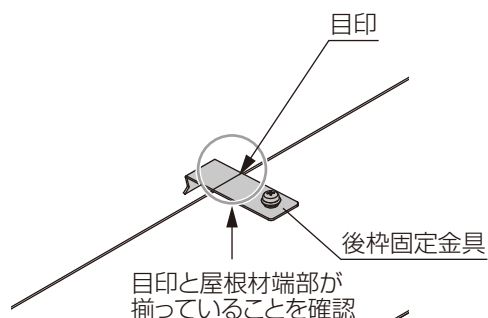
後枠固定金具

屋根材または
照明用屋根材

目印

30.2

ビード材



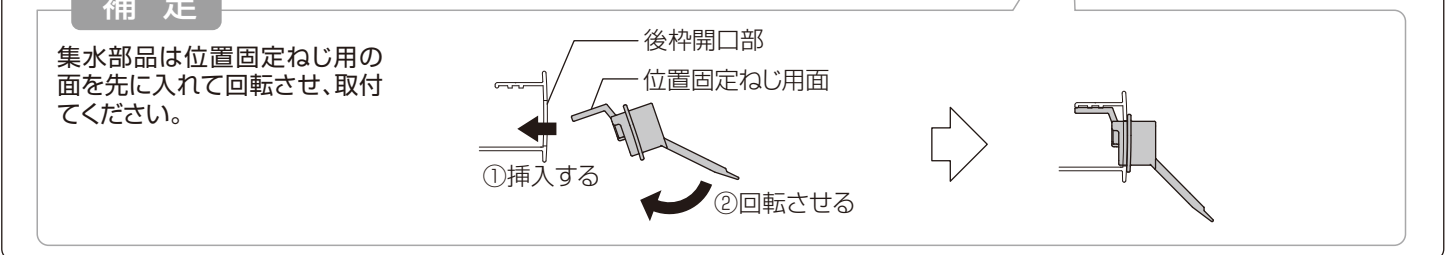
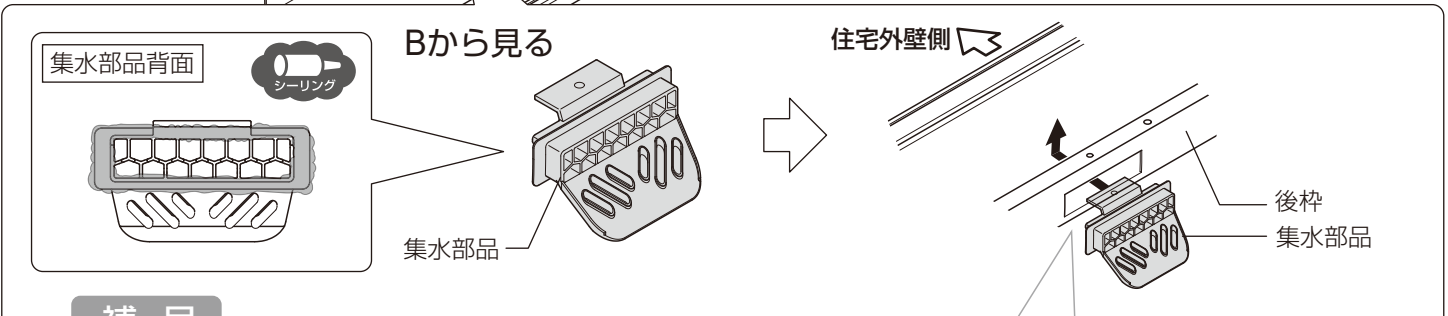
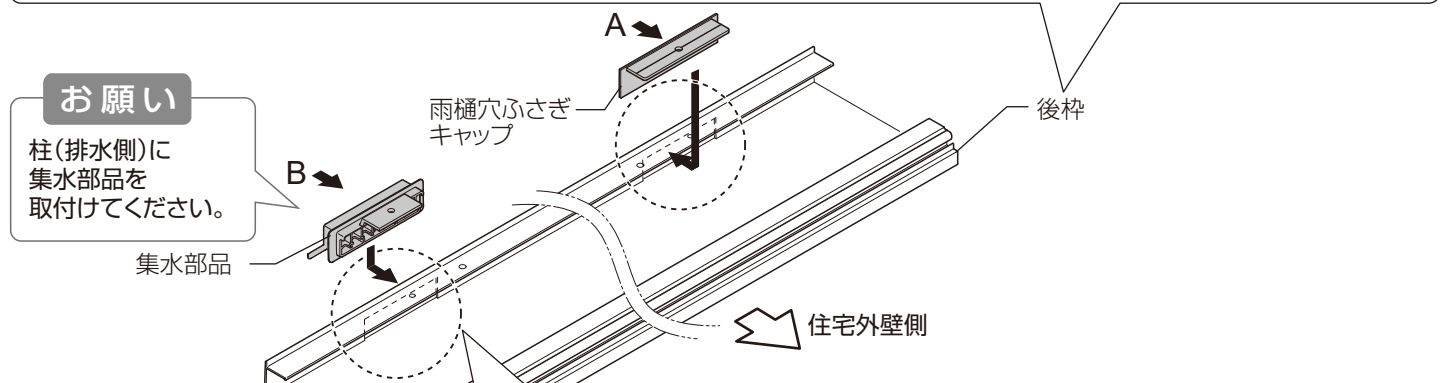
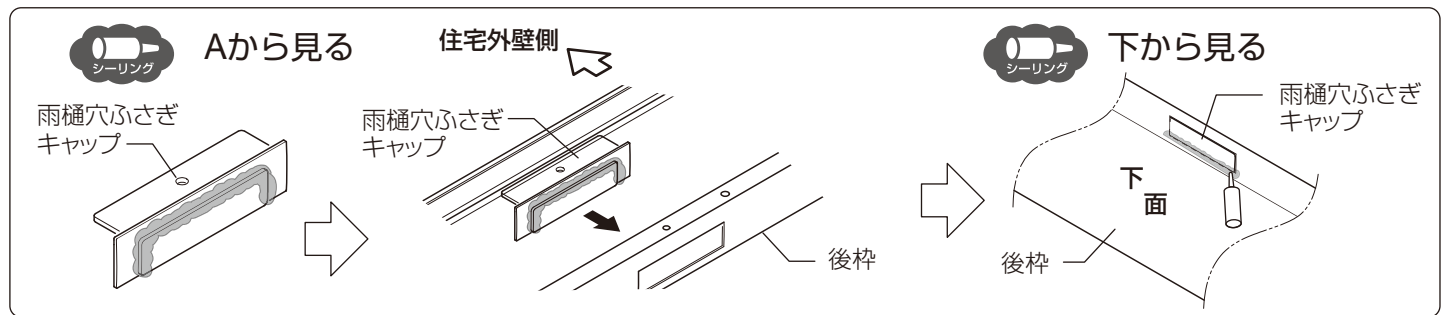
5 後枠への部品の取付け

①集水部品・雨樋穴ふさぎキャップにシーリングをし、後枠に取付けてください。

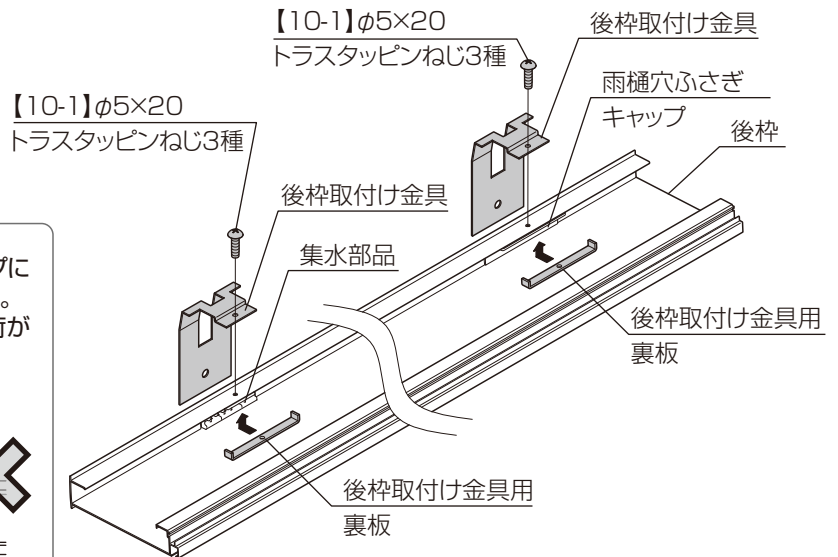
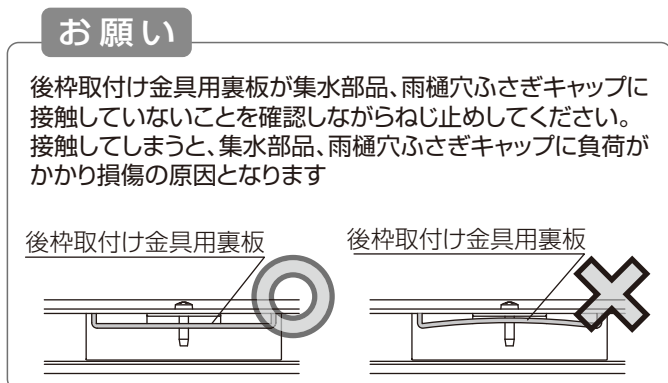
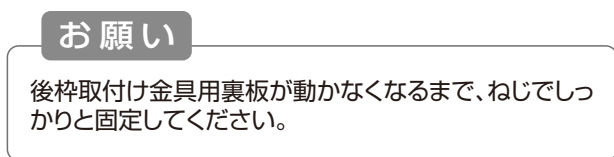


下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

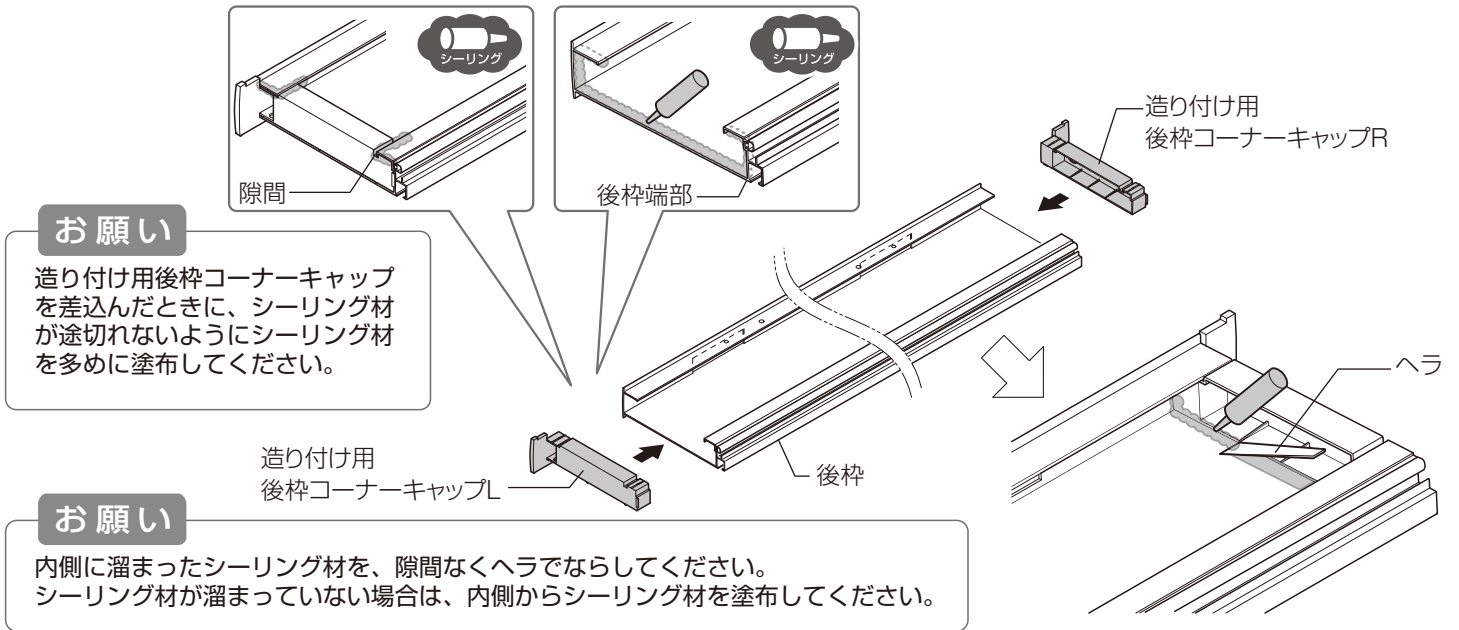
「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド・SC) 取付説明書(D560)」



②後枠取付け金具と後枠取付け金具用裏板を、【10-1】で後枠に取付けてください。



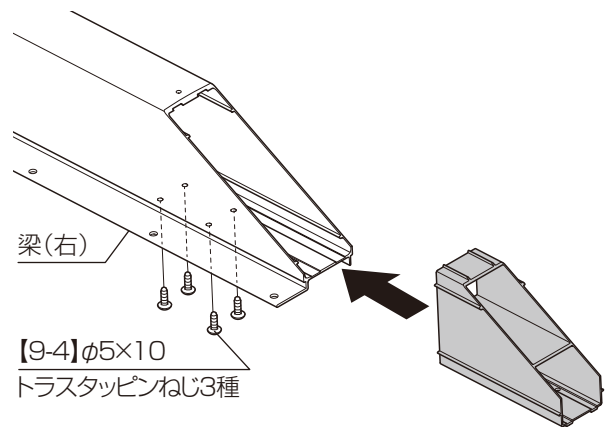
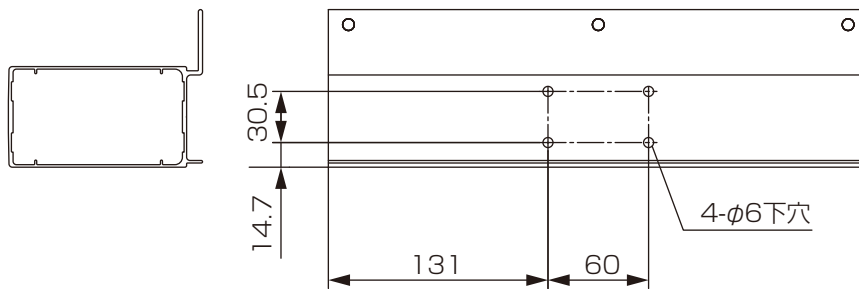
- ③後枠両端部にシーリング材を塗布してください。
- ④造り付け用後枠コーナーキャップR、造り付け用後枠コーナーキャップLを後枠に差込んでください。
- ⑤造り付け用後枠コーナーキャップR、造り付け用後枠コーナーキャップLを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
- ⑥内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。



6 梁への部品の取付け

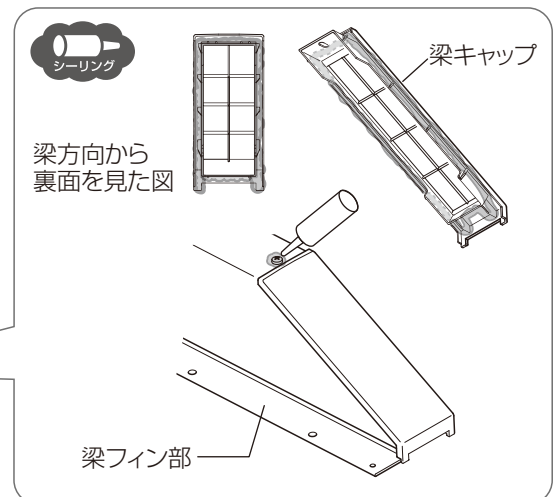
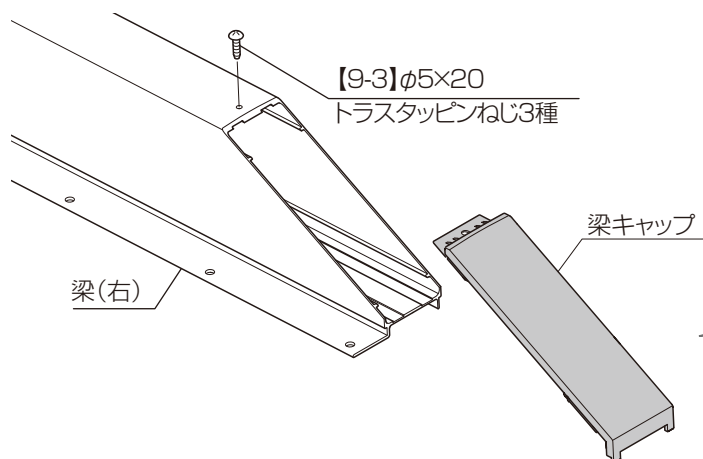
〈躯体出幅7.5・9尺の場合のみ〉

- ①梁にφ6穴を開けてください。
- ②梁スリーブを【9-4】で梁に取付けてください。



〈共通〉

- ③梁キャップにシーリングし、梁に【9-3】で固定してください。

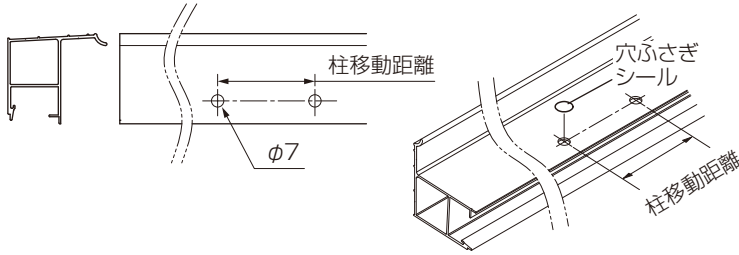


柱移動の場合

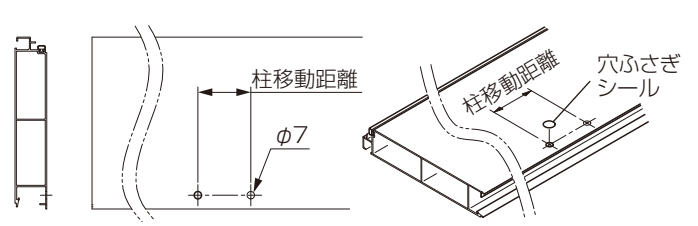
- ①壁付枠・屋根材・後枠に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ③後枠の排水側に集水部品と加工した雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。



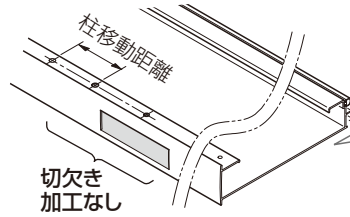
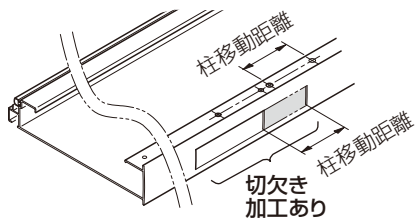
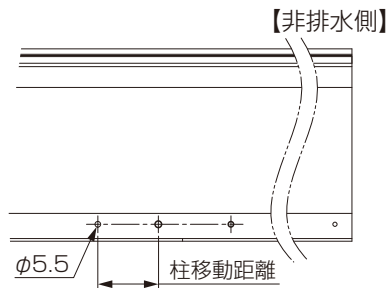
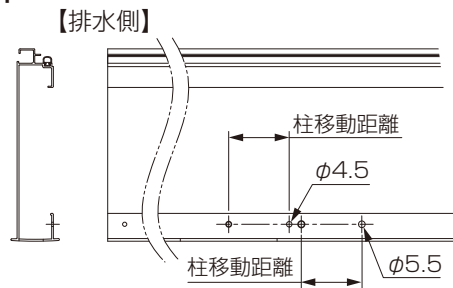
●壁付枠



●屋根材



●後枠



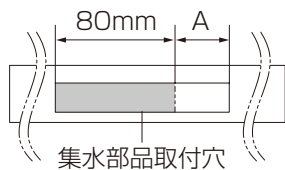
補足

【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工は、必要ありません。

柱を移動する場合

●【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工

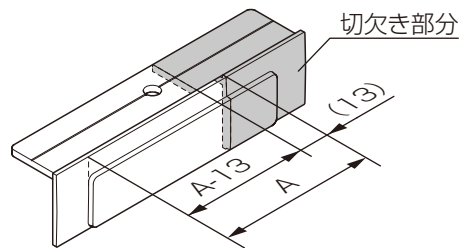
集水部品取付穴が80mmになるように、雨樋穴ふさぎキャップを加工してください。



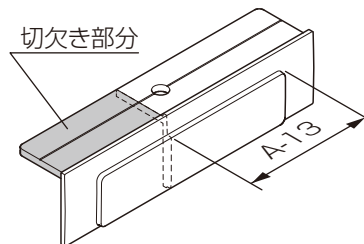
※排水柱で無い場合は、後枠への加工は必要ありません。

●【集水部品】と加工済み【雨樋穴ふさぎキャップ】の取付け

【排水側】



【非排水側】



【10-1】φ5×20

トラスタッピン
ねじ3種

後枠取付け
金具用裏板

後枠

集水部品

後枠取付け金具

加工後
水抜き穴サイズ

【10-4】【12-1】

φ5×10
トラスタッピン
ねじ3種

加工済み

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

シーリング

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

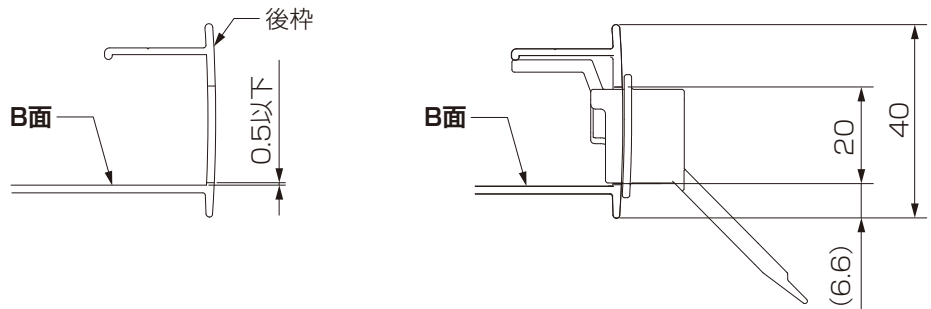
雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

雨樋穴ふさぎキャップ

お願い

B面からの切り残しは
0.5mm以下としてください。
集水部品を取付けることが
できなくなります。



□ 間口を切詰める場合

①壁付枠・屋根材・後枠を切詰めてください。



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明(壁付タイプ 造り付けバルコニー用屋根タイプ)取付説明書(MAN-723)」

お願い

シームレスラインライトを取付ける場合、屋根部の切詰め寸法に制限があります。

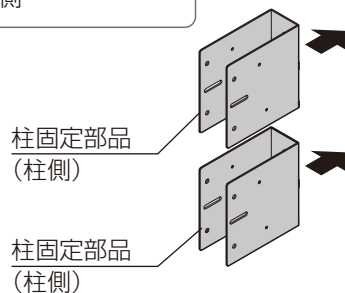
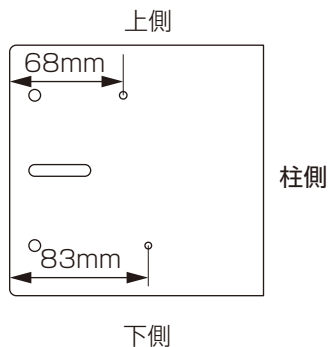
- シームレスラインライトを切詰める場合は、「テラス SC 屋根照明(壁付タイプ 造り付けバルコニー用屋根タイプ)取付説明書(MAN-723)」の〈シームレスラインライト切詰め方法〉を参照してください。
- シームレスラインライトが特注品の場合は、「テラス SC 屋根照明(壁付タイプ 造り付けバルコニー用屋根タイプ)取付説明書(MAN-723)」の〈シームレスラインライト特注寸法一覧〉を参照してください。

7 柱固定部品(柱側)の取付け

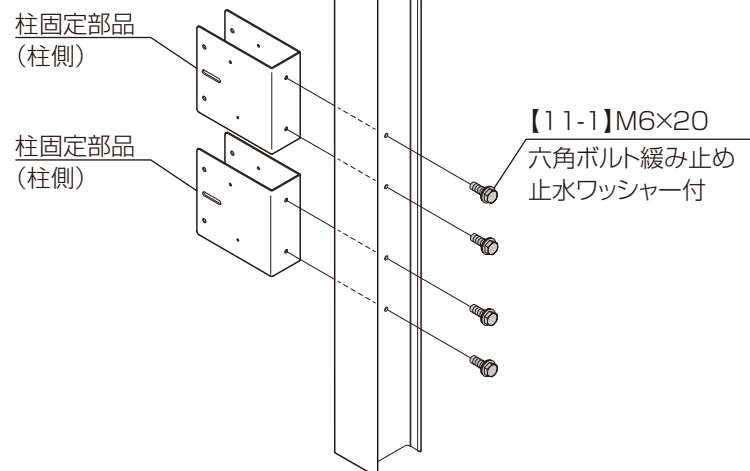
①柱固定部品(柱側)を柱の切欠きに挿入し【11-1】で固定してください。

お願い

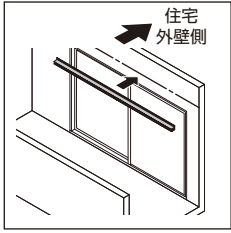
柱固定部品(柱側)には上下が
あります。
間違えないように取付けてく
ださい。



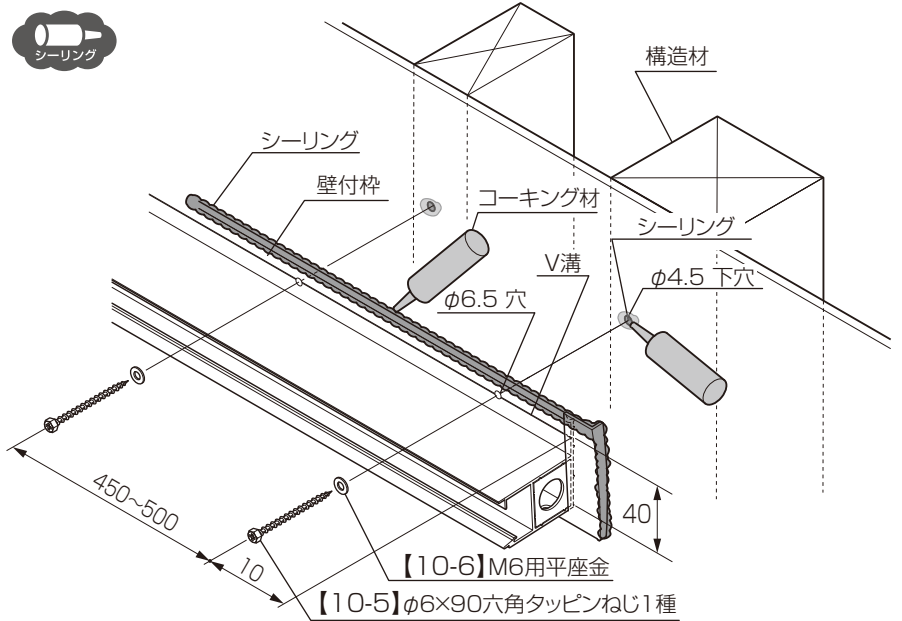
柱切欠き



2 壁付枠の取付け

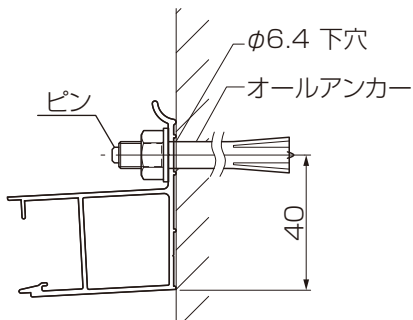


● 躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。



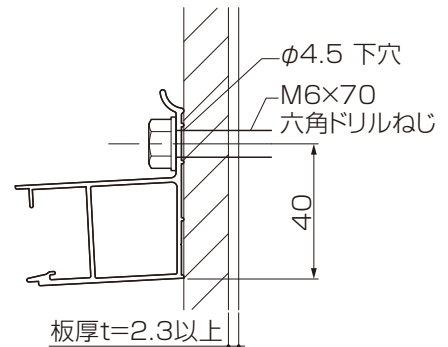
〈RC構造の場合〉

● φ6.4mmの下穴をあけ、切粉を除去し、取付けてください。



〈軽量鉄骨構造の場合〉

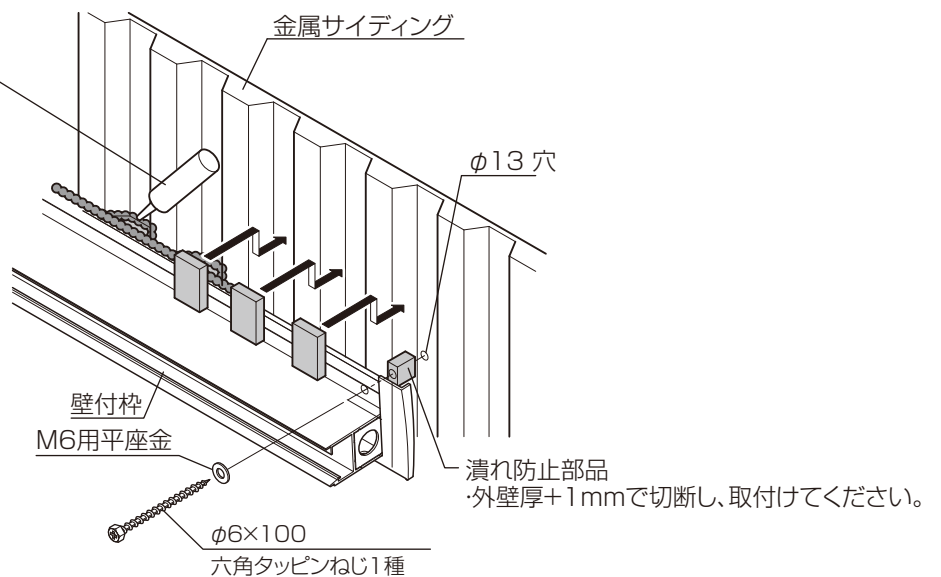
● 鉄骨の板厚が2.3mm以上あることを確認し、取付けてください。
● 締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。



※ 同梱の袋ナットを使用する場合、埋め込み深さを調整し、ピンを切断して取付けてください。

〈金属サイディングへの取付けの場合〉

スパンサイディング用バックアップ材
※ スパンサイディング縦張りの場合のみ
必要
・ 各スパンに張付けてください。
・ 張付け後はシーリングしてください。



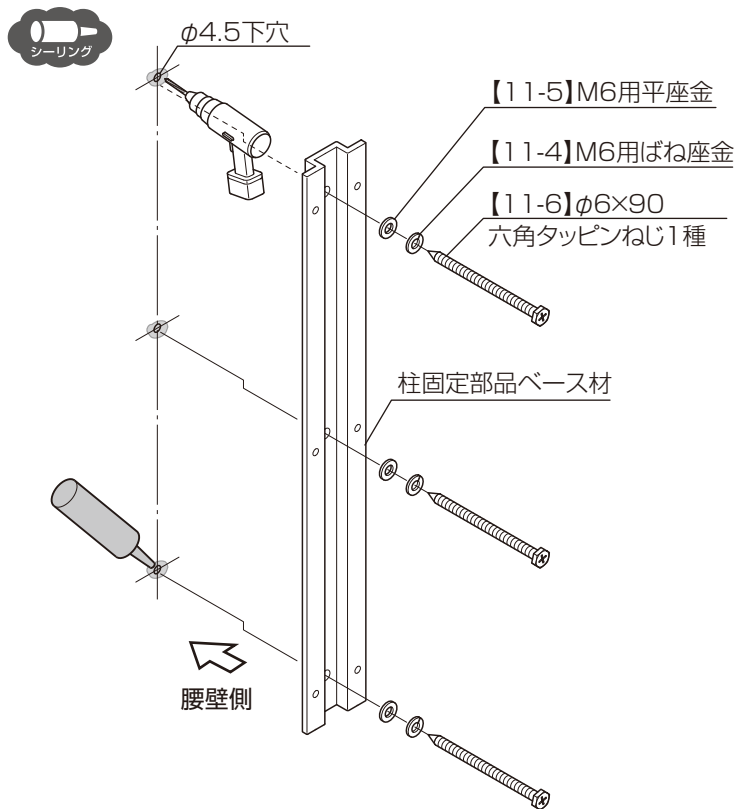
※ 固定ねじの締め込み過ぎにより、金属サイディングが潰れないようご注意ください。

3 柱固定部品ベース材の取付け

- ①腰壁にφ4.5下穴をあけ、シーリングしてください。
- ②ベース材を、【11-4】【11-5】【11-6】で取付けてください。

注意

- 柱固定部品ベース材は、柱・間柱などの構造材に必ず止めてください。
- 躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。



4 柱固定部品(腰壁側)の取付け

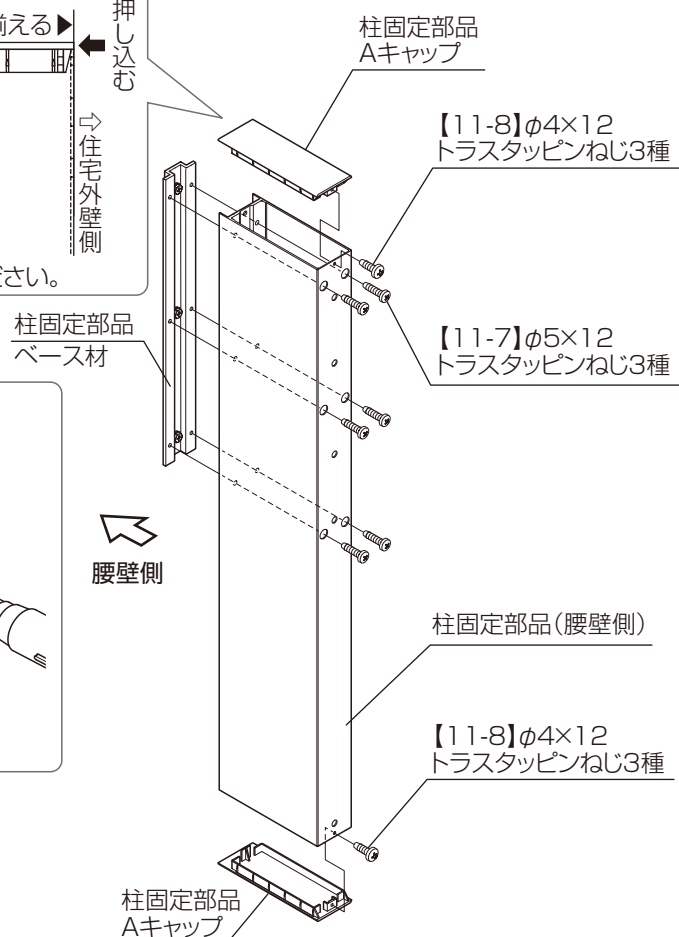
- ①柱固定部品(腰壁側)を【11-7】で、ロングドライバービットを用いて柱固定部品ベース材に取付けてください。
- ②柱固定部品Aキャップを柱固定部品(腰壁側)に【11-8】で取付けてください。

①柱固定部品Aキャップを柱固定部品(腰壁側)引っ掛ける。 → ②キャップ端部と柱固定部品(腰壁側)の端部が揃うまで押し込む。

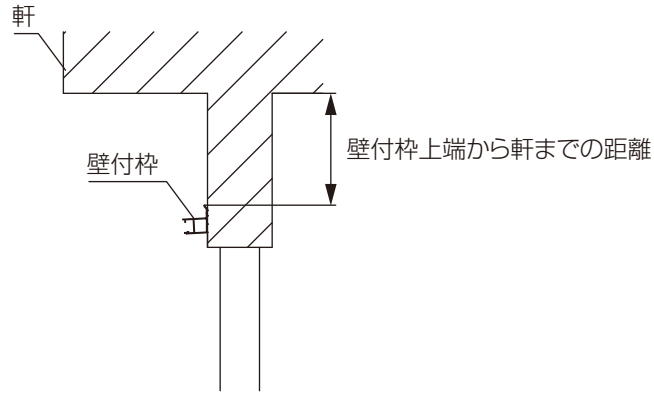
※柱固定部品Aキャップは柱固定部品(腰壁側)を取付けた後に取付けてください。

補足

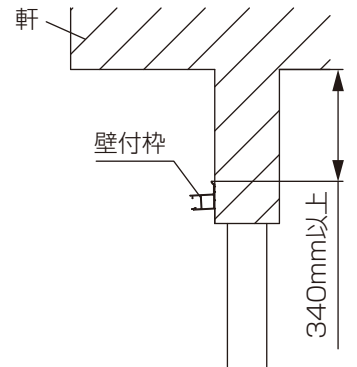
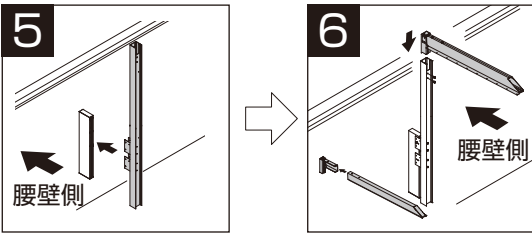
ねじを取付けにくい場合は、ねじ取付治具を使用してください。



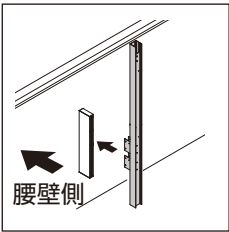
5 6 は、壁付枠上端と軒の距離によって手順が異なります



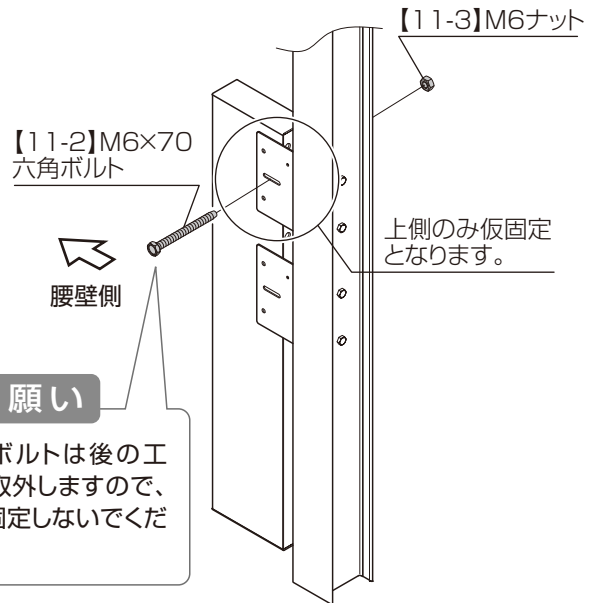
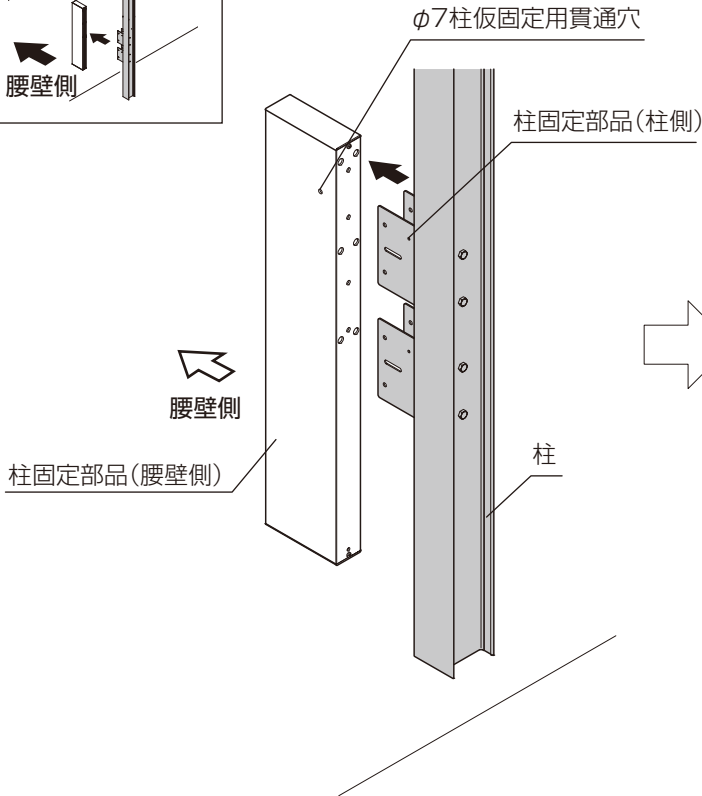
<壁付枠上端と軒の距離が340mm以上の場合>



5 柱の取付け



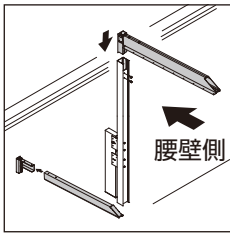
①上側に取り付けている柱固定部品(柱側)の長穴と柱固定部品(腰壁側)のφ7柱仮固定用貫通穴を【11-2】【11-3】で仮固定してください。



お願い

このボルトは後の工程で取外しますので、強く固定しないでください。

6 梁柱固定金具と梁の取付け



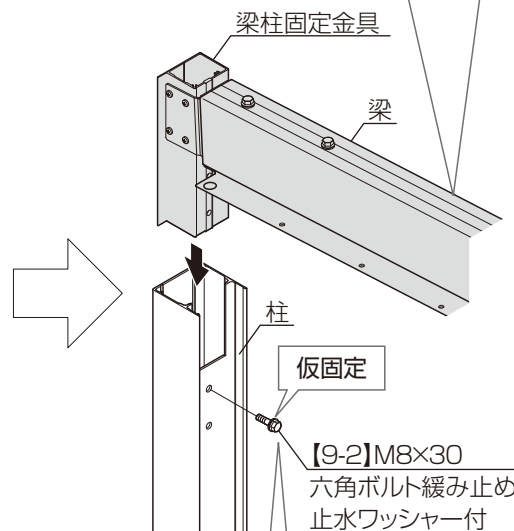
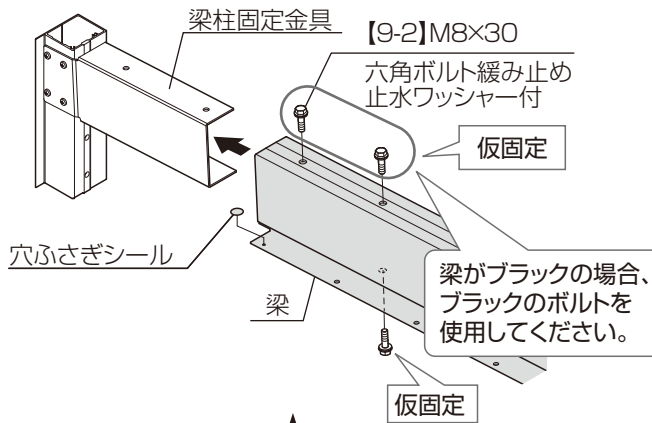
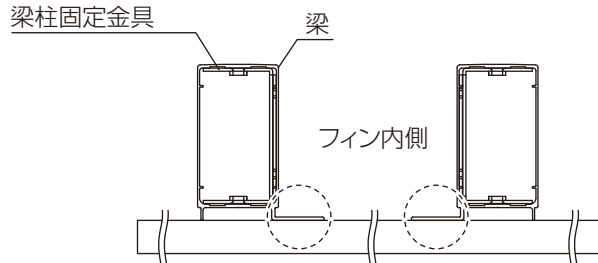
- ①梁の端部の穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ②梁を梁柱固定金具に差込み【9-2】で仮固定してください。
- ③梁柱固定金具を柱に差込み【9-2】で仮固定してください。

お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

お願い

梁には向きがあります。梁のフィンが内側になるように取付けてください。



お願い

本工程にて下側の穴にボルトは取付けしないでください。後枠を取付ける際に使用します。(P.32を参考してください。)

補足

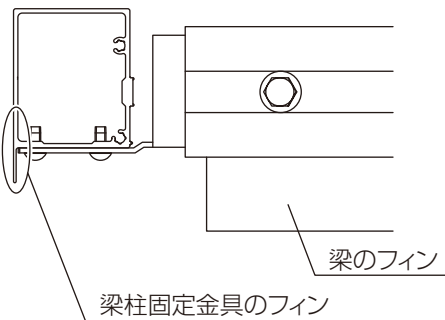


仮固定したボルトは **8** 屋根材の取付けで本固定します。

注意

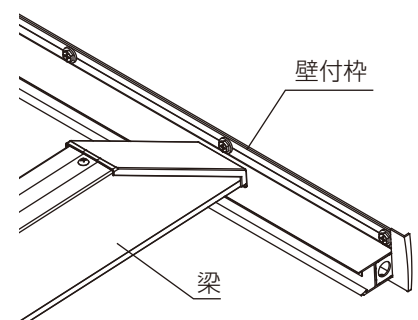
梁柱固定金具には向きがあります。梁柱固定金具のフィンと梁のフィンの向きが同じになるように取付けてください。向きを間違えた場合、既定の強度を満たすことができなくなります。

上側から見る

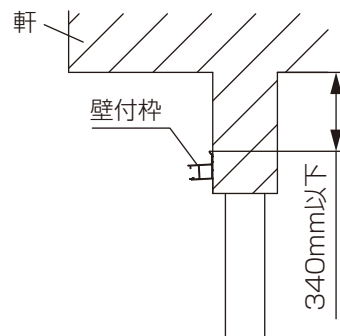
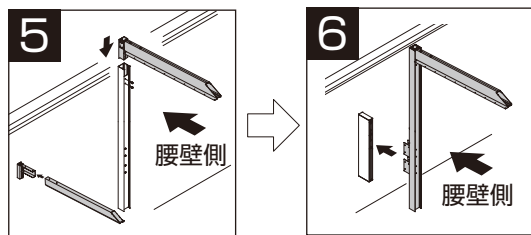


お願い

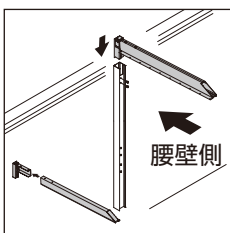
梁を取付ける際、梁の先端で壁・壁付枠にキズを付けないように注意してください。



<壁付桝上端と軒の距離が340mm以下の場合>



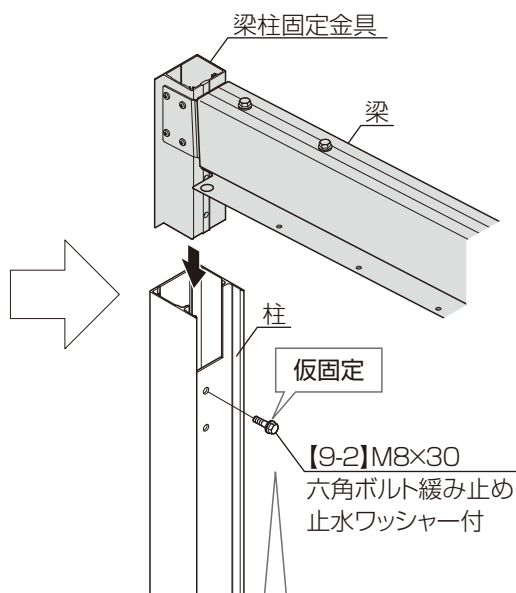
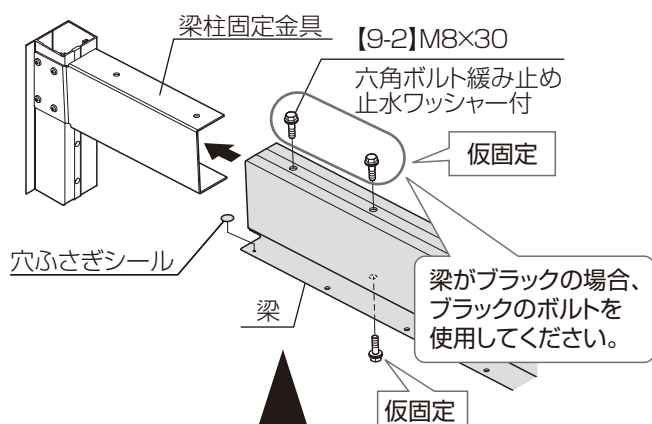
5 梁柱固定金具と梁の取付け



- ①梁の端部の穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ②梁を梁柱固定金具に差込み【9-2】で仮固定してください。
- ③梁柱固定金具を柱に差込み【9-2】で仮固定してください。

お願い

緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやよくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)



お願い

本工程にて下側の穴にボルトは取付けしないでください。後枠を取付ける際に使用します。(P.32を参考してください。)

補足

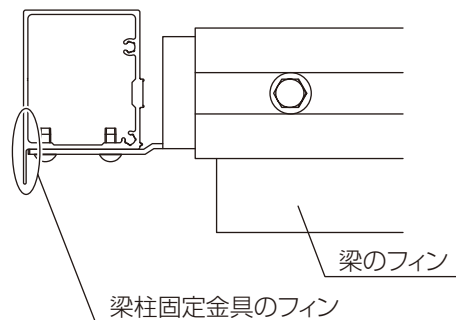


仮固定したボルトは **8** 屋根材の取付けで本固定します。

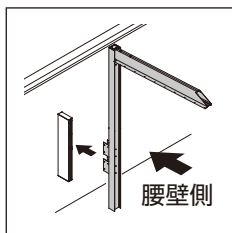
注意

梁柱固定金具には向きがあります
梁柱固定金具のフィンと梁のフィンの向きが同じになるように取付けてください。
向きを間違えた場合、既定の強度を満たすことができなくなります。

上側から見る



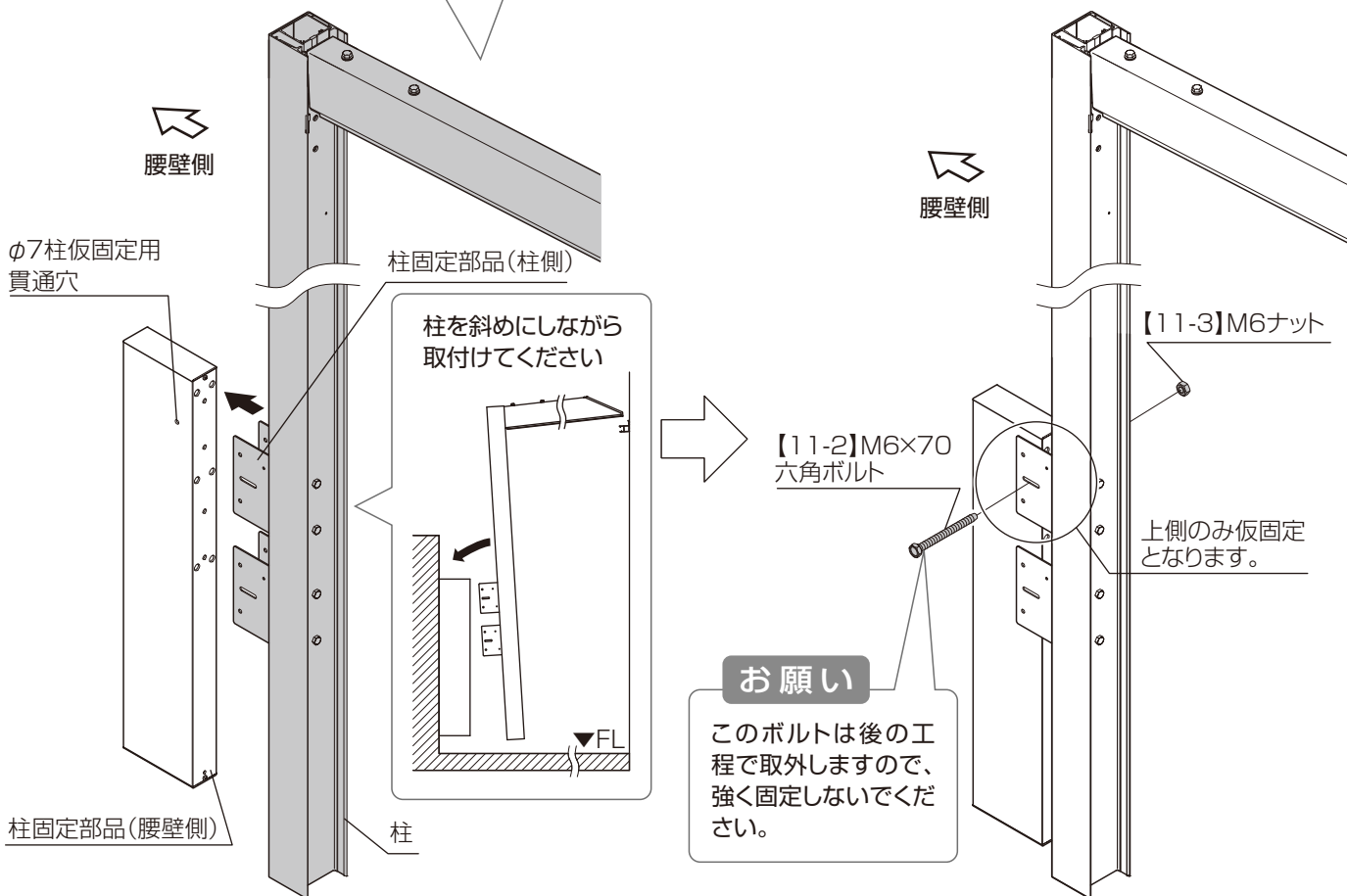
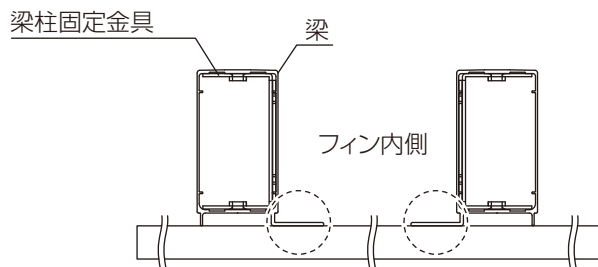
6 柱の取付け



①上側に取り付けている柱固定部品(柱側)の長穴と柱固定部品(腰壁側)のφ7柱仮固定用貫通穴を【11-2】【11-3】で仮固定してください。

お願い

梁には向きがあります。
梁のフィンが内側になるように柱を取付けてください。

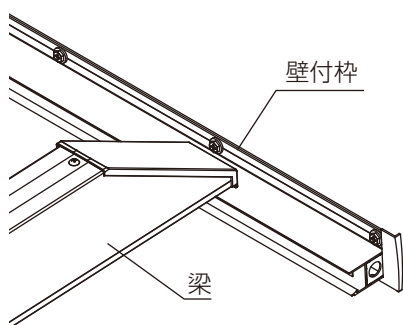


お願い

このボルトは後の工程で取外しますので、強く固定しないでください。

お願い

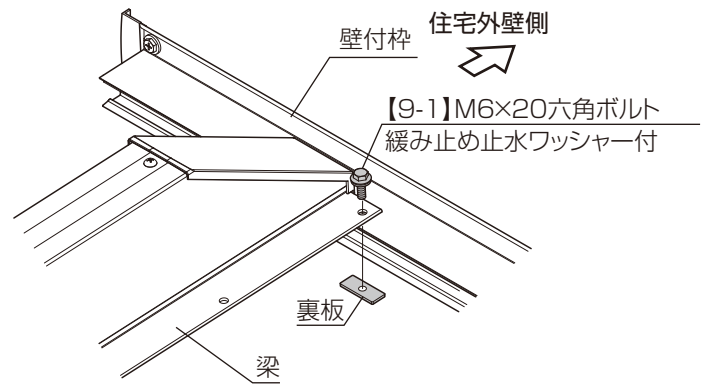
柱を仮固定する際、梁の先端で壁・壁付枠にキズを付けないように注意してください。



7 梁と壁付枠の仮固定

1 梁と壁付枠の仮固定

① 梁と壁付枠を【9-1】で仮固定してください。

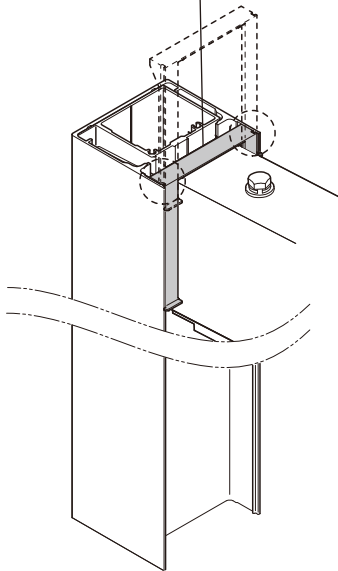


2 柱すき間ふさぎ部品、柱上部キャップの取付け

① 柱すき間ふさぎ部品を取付けてください。

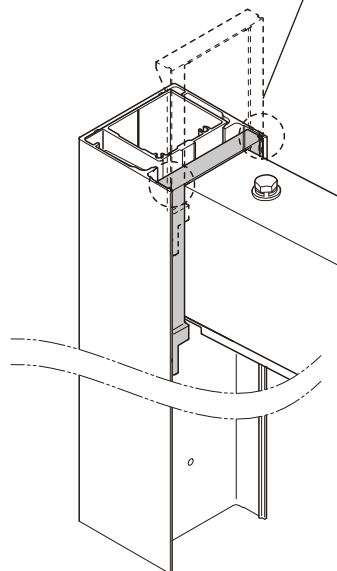
●柱

柱すき間ふさぎ部品



●柱(排水側)

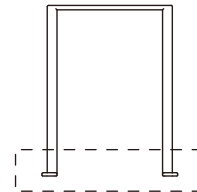
柱すき間ふさぎ部品(排水)



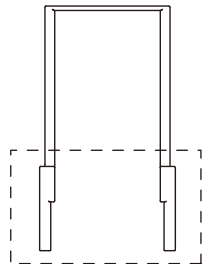
補足

柱すき間ふさぎ部品には種類があります。点線部分の形状で判断できます。

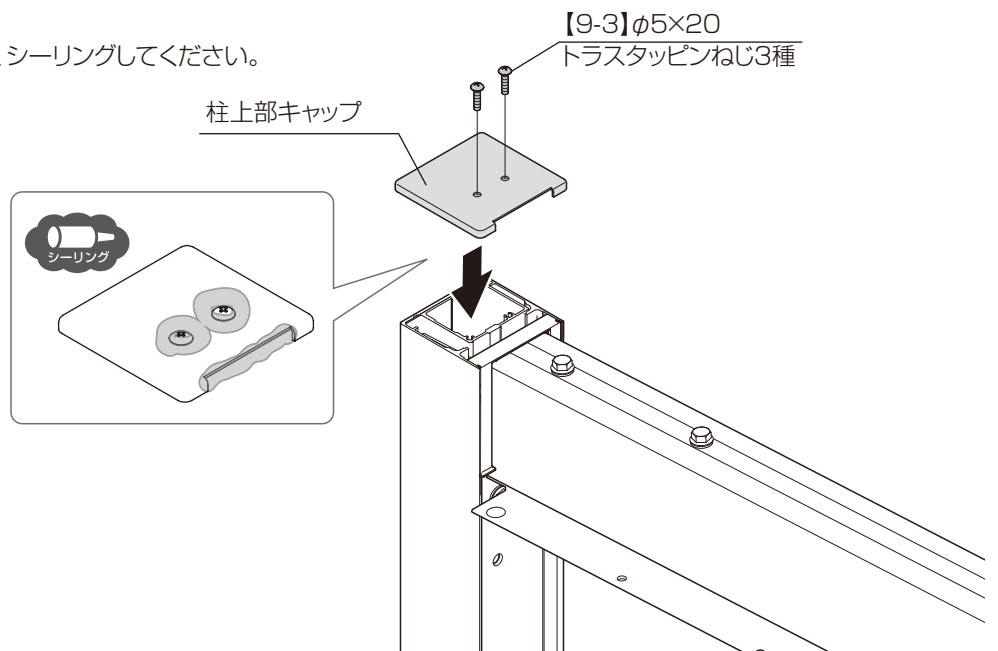
●柱



●柱(排水側)

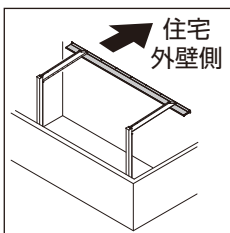


② 柱上部キャップを【9-3】で取付けてから、シーリングしてください。



8 屋根材の取付け

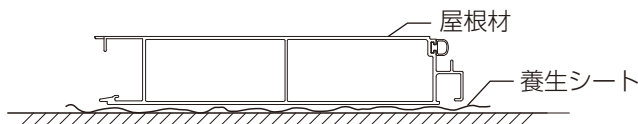
1 1～2枚目の取付け



①屋根材(1枚)を壁付枠に引っ掛け、裏板と【9-1】で仮固定してください。

お願い

【屋根材を仮置きする場合】
下面が意匠面となるため、養生シートの上に置いてください。



お願い

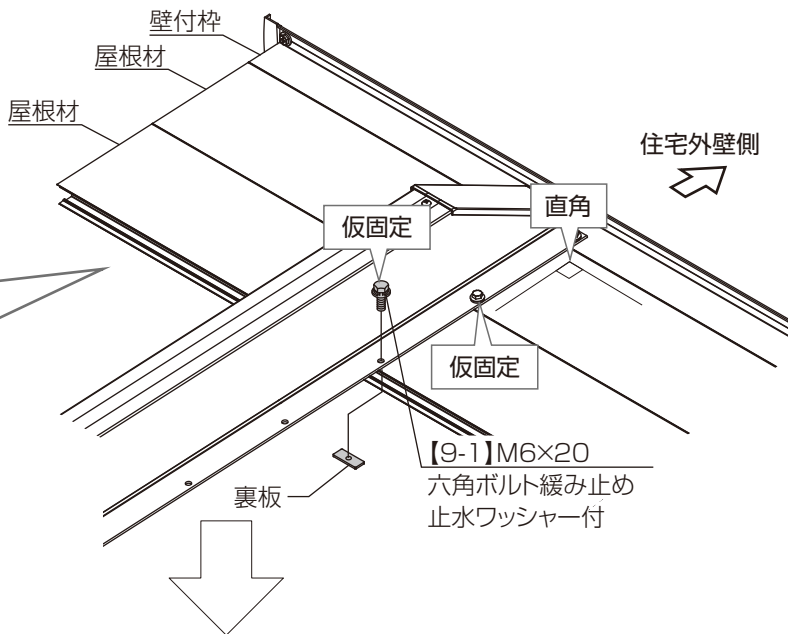
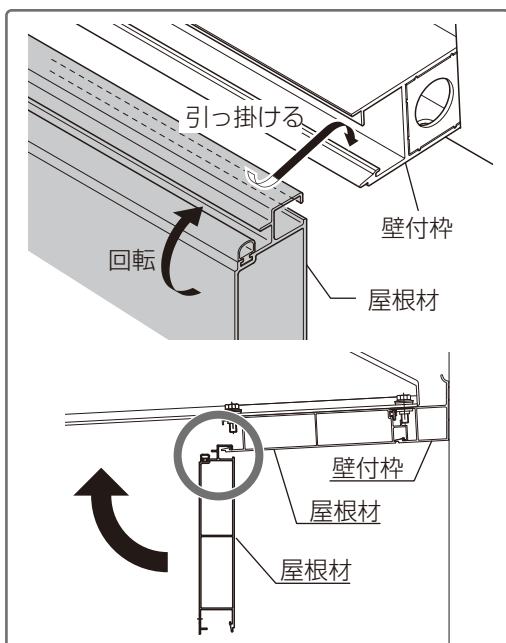
梱包の向きを確認してください。



チェックポイント①

②屋根材同士を引っ掛け、裏板と【9-1】で屋根材2枚目を仮固定してください。

③直角を確認し、壁付枠を本固定してください。

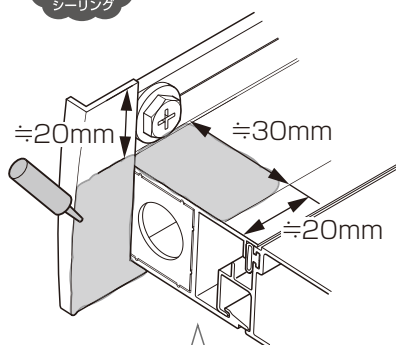
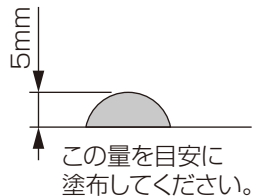


直角の確認
(梁の先端の距離と根元の距離を確認)

屋根材を2・3枚取付け後、壁付枠と造り付け用壁付枠コーナーキャップにシーリングを塗ってください

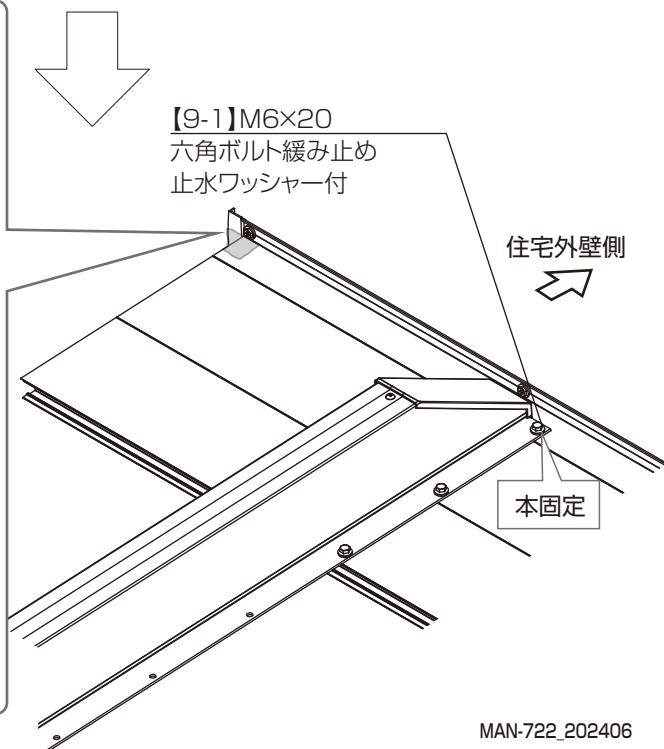


■シーリング塗布量



補足

- ・シーリングは造り付け用側枠を取付ける際の事前シーリングとなります。
- ・シーリングが固まる前に、造り付け用側枠を取付けてください。シーリングが固まった状態で造り付け用側枠を取付けてしまうと、シーリングが機能せず漏水の原因となります。



2 3枚目以降の取付け

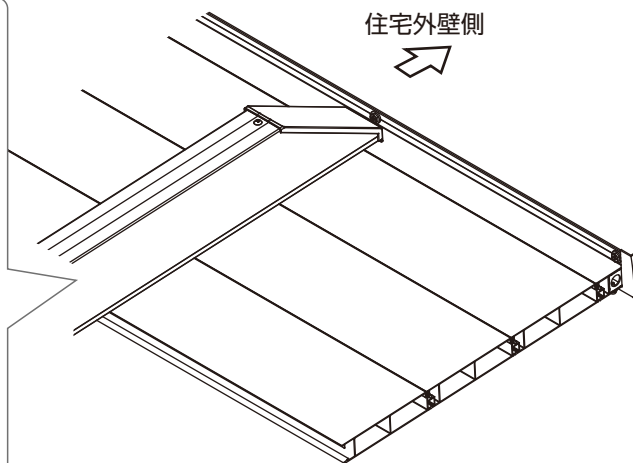
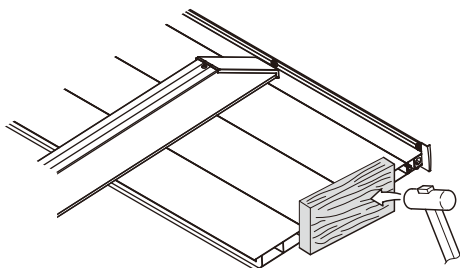
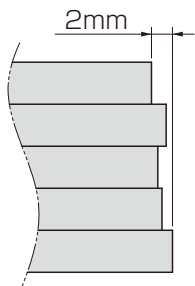
- ① 1～2枚目と同様に3枚目を【9-1】で仮固定してください。
- ② 屋根材端部がそろっていることを確認して、1枚目の屋根材を本固定してください。
- ③ 4枚目以降の屋根材も同様に取付けてください。

お願い

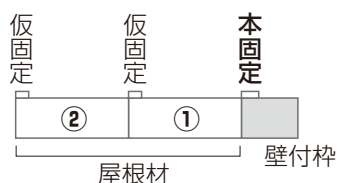
屋根材を取り付ける際は、住宅外壁側に詰めて取付けてください。詰めて取付けない場合、後枠が柱に干渉し取付けにくくなる場合があります。

お願い

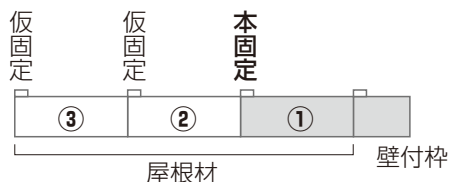
- ・ 屋根材端部は全体で±1mm（見目で気にならないよう）にそろえてください。
 - ・ 端部をそろえるときはあて木をし、ハンマーでたたいてください。端部をそろえると直角になります。
- 屋根材の端部を揃えないと、造り付け用側枠が取り付けられないことがあります。



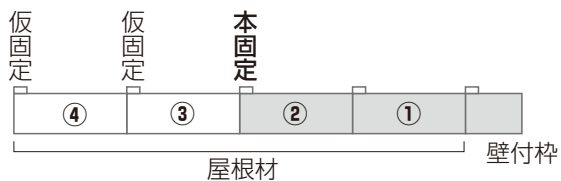
手順1



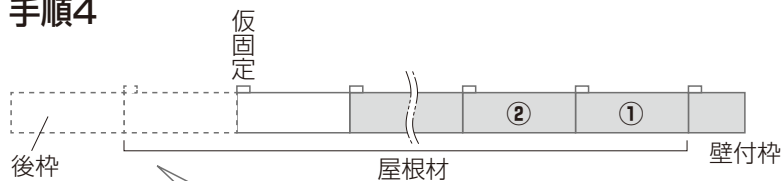
手順2



手順3



手順4



補足

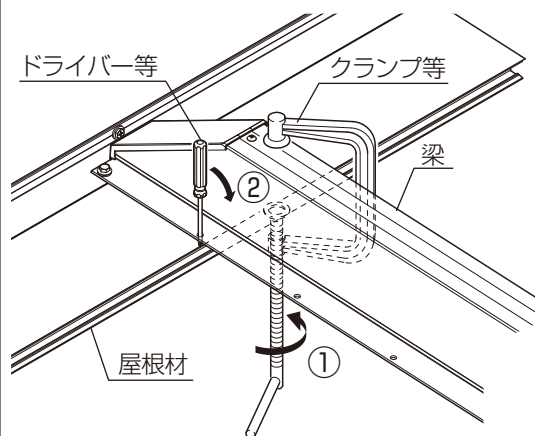
最後の屋根材を取付ける前に梁柱固定金具を本固定します。屋根材1枚分と後枠のスペースを空けておいてください。

補足

屋根材を何枚か取付けると、穴位置がズレることがあります。ドライバー等で穴をこじると施工しやすいです。

補足

●屋根材の保持が難しい場合



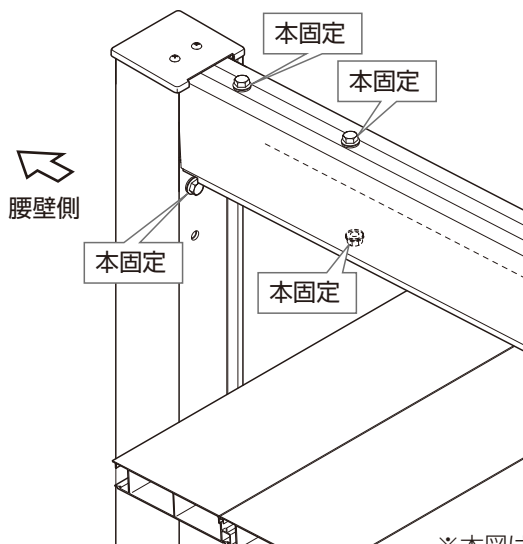
- ① 取付ける屋根材と梁をクランプ等で挟み、取付ける屋根材の穴にドライバー等を差し込んでください。
- ② クランプを締めながらドライバーを手前に引いてください。

お願い

- ・ クランプで挟む際に屋根材を締め付け過ぎないように注意してください。屋根材が変形することがあります。
- ・ クランプで挟む際に屋根材に傷がつかないように注意してください。

3 屋根材(後枠固定金具付)の取付け

- ①梁・柱と梁柱固定金具に取付けたボルトを本固定してください。
- ②屋根材(後枠固定金具付)を【9-1】で本固定してください。



※本図は内観左を示す

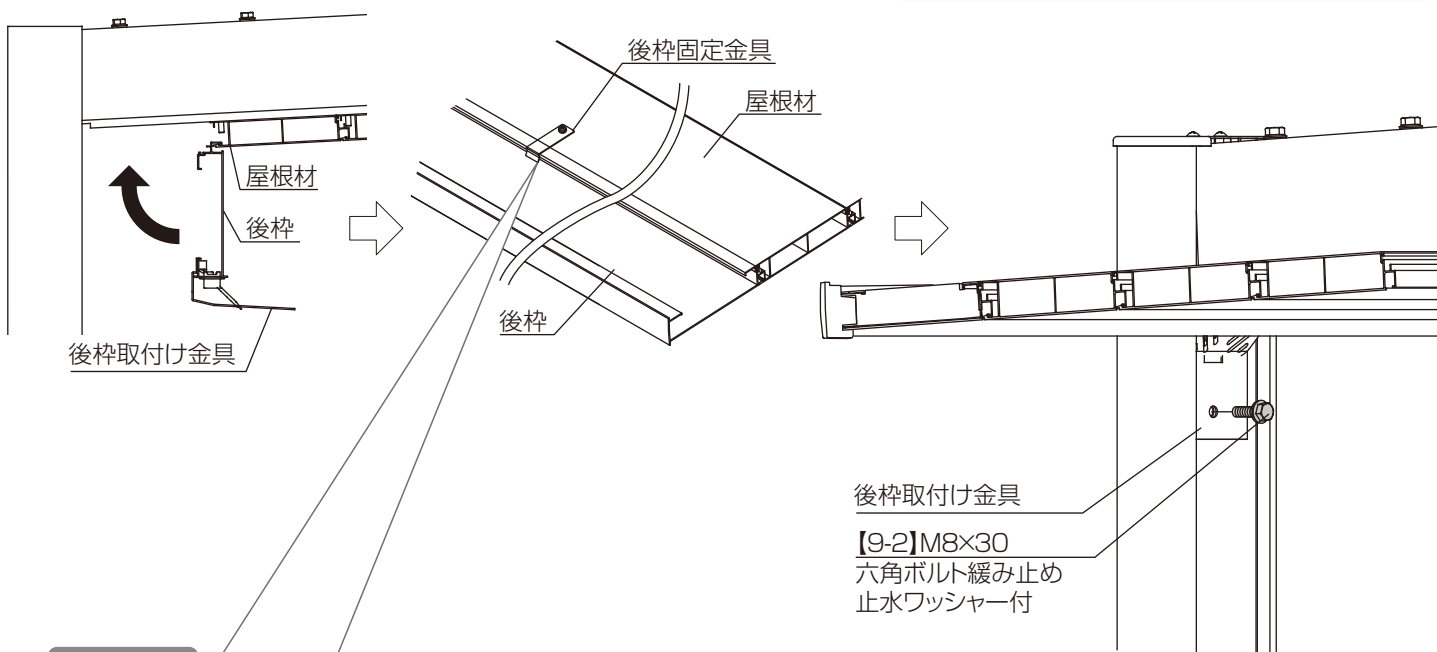
9 後枠の取付け

- ①後枠を屋根材に引っ掛けてください。
- ②後枠取付け金具を【9-2】で柱に固定してください。



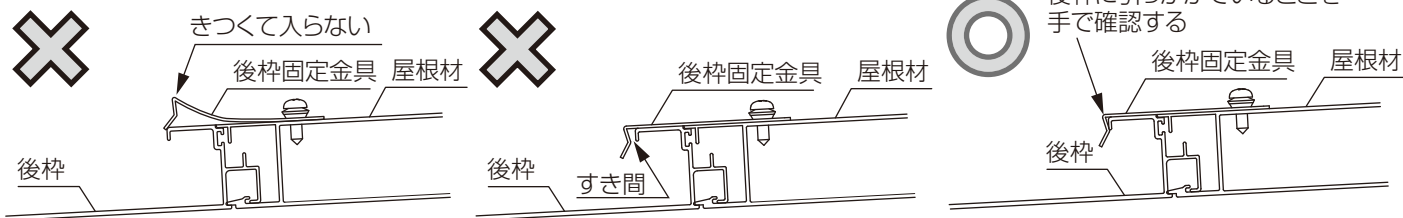
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド・SC) 取付説明書(D560)」



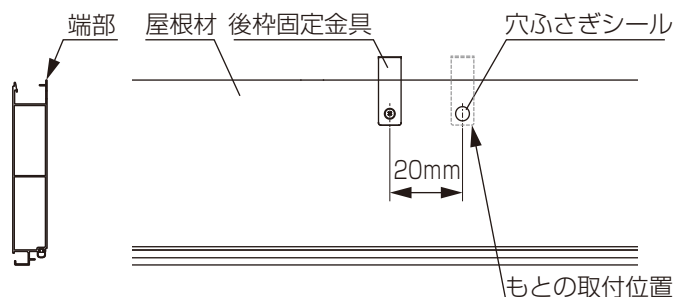
お願い

後枠固定金具が後枠に組付いていることを屋根下から手を伸ばして確認してください。



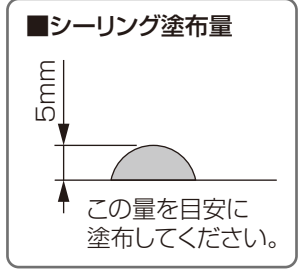
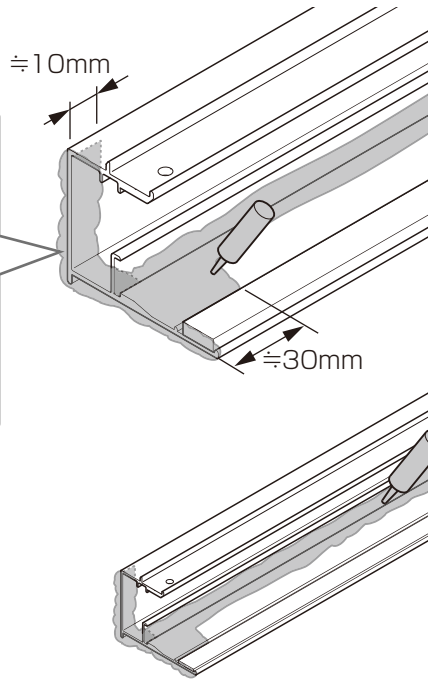
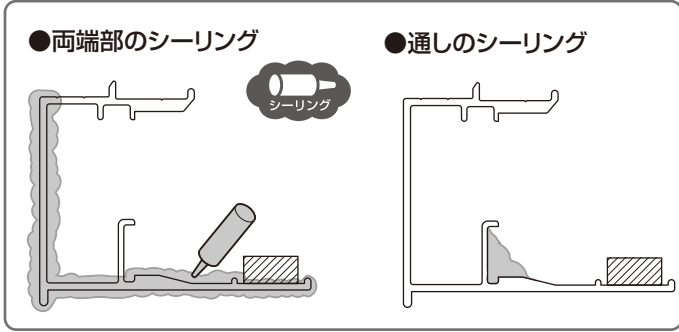
後枠固定金具が正しく組み付いていない場合は下記の手順で取付け直してください。

- ①後枠を屋根材から取り外してください。
- ②後枠固定金具を外してください。
- ③ねじ止めしていた穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ④もとの取付位置から横に20mmずらした位置に再度取付けてください。



10 造り付け用側枠の取付け

①造り付け用側枠にシーリングしてください。



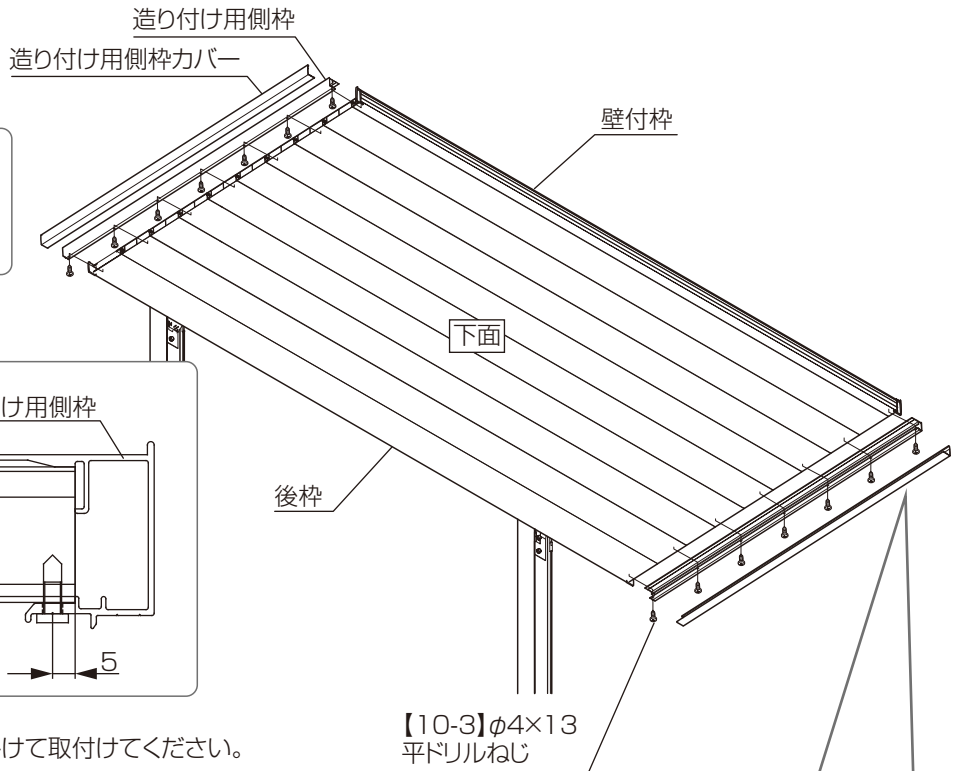
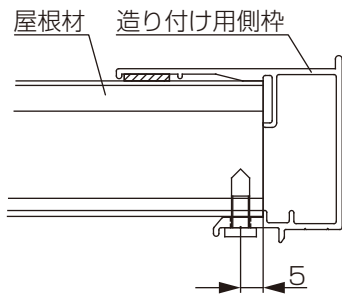
②造り付け用側枠を屋根材に【10-3】で
下から取付けてください。

お願い

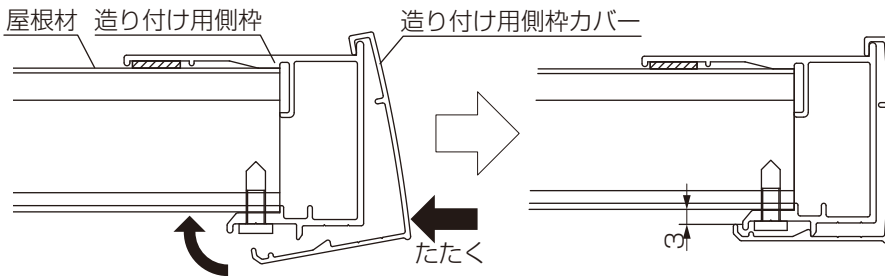
造り付け用側枠・造り付け用側枠カバーは
造り付け用後枠コーナーキャップ側に寄せ
て取付けてください。

お願い

造り付け用側枠は屋根
材端部から5mmの位
置にねじ固定します。
屋根材をけがくなどを
して、正しい位置に取付
けてください。

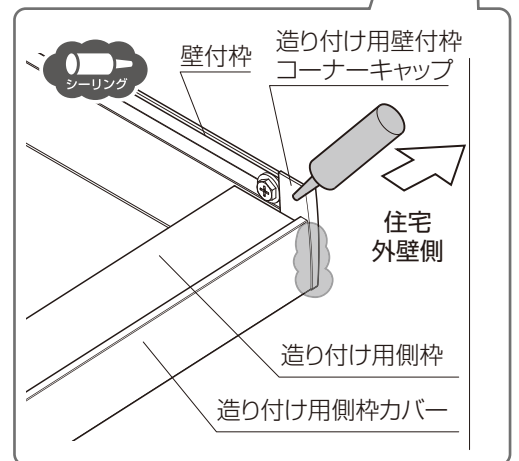


③造り付け用側枠カバーを造り付け用側枠に掛けて取付けてください。



お願い

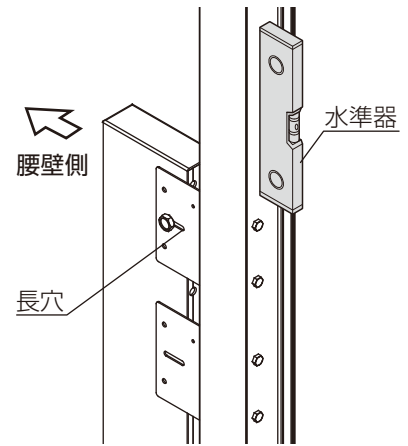
造り付け用側枠カバーと屋根材の隙間が3mmであることを確認して
ください。正しく取り付いていないと造り付け用側枠カバーの落下の原因
となります。



11 柱固定部品カバー取付け材の取付け

1 柱の垂直の確認

柱固定部品(柱側)の長穴の範囲で調整し、柱の出幅方向の垂直を確認してください。



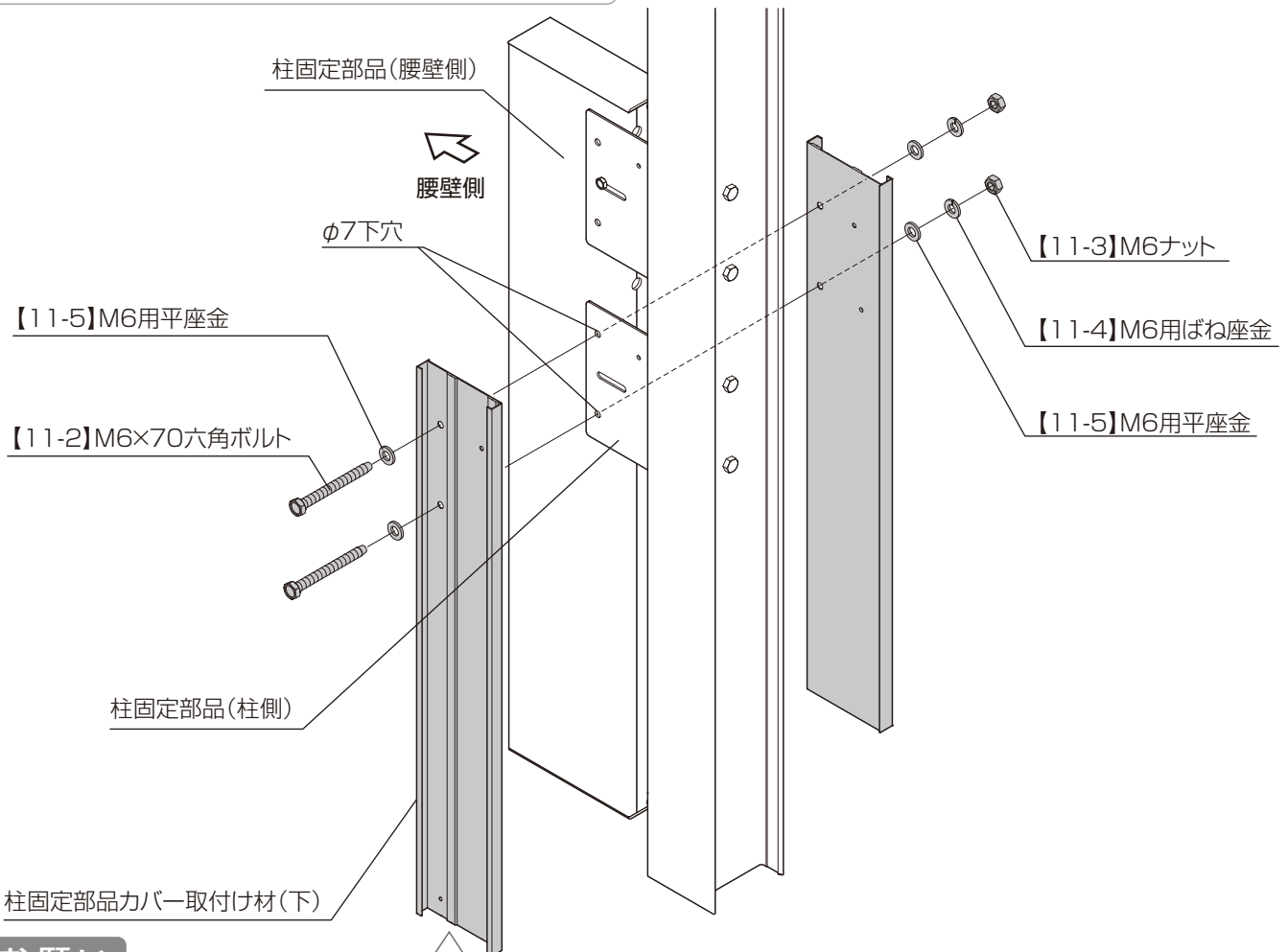
2 柱固定部品カバー取付け材の取付け

①下側の柱固定部品(柱側)の穴を写し穴にし、柱固定部品(腰壁側)の両側にφ7の下穴を開けて、柱固定部品カバー取付け材(下)を【11-2】～【11-5】で固定してください。

補足

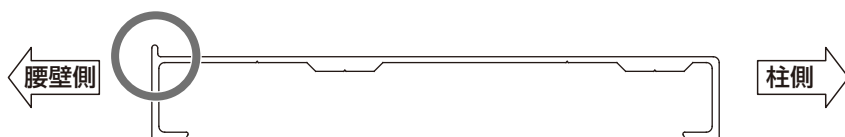


水切りがある場合P.39を参照してください。



お願い

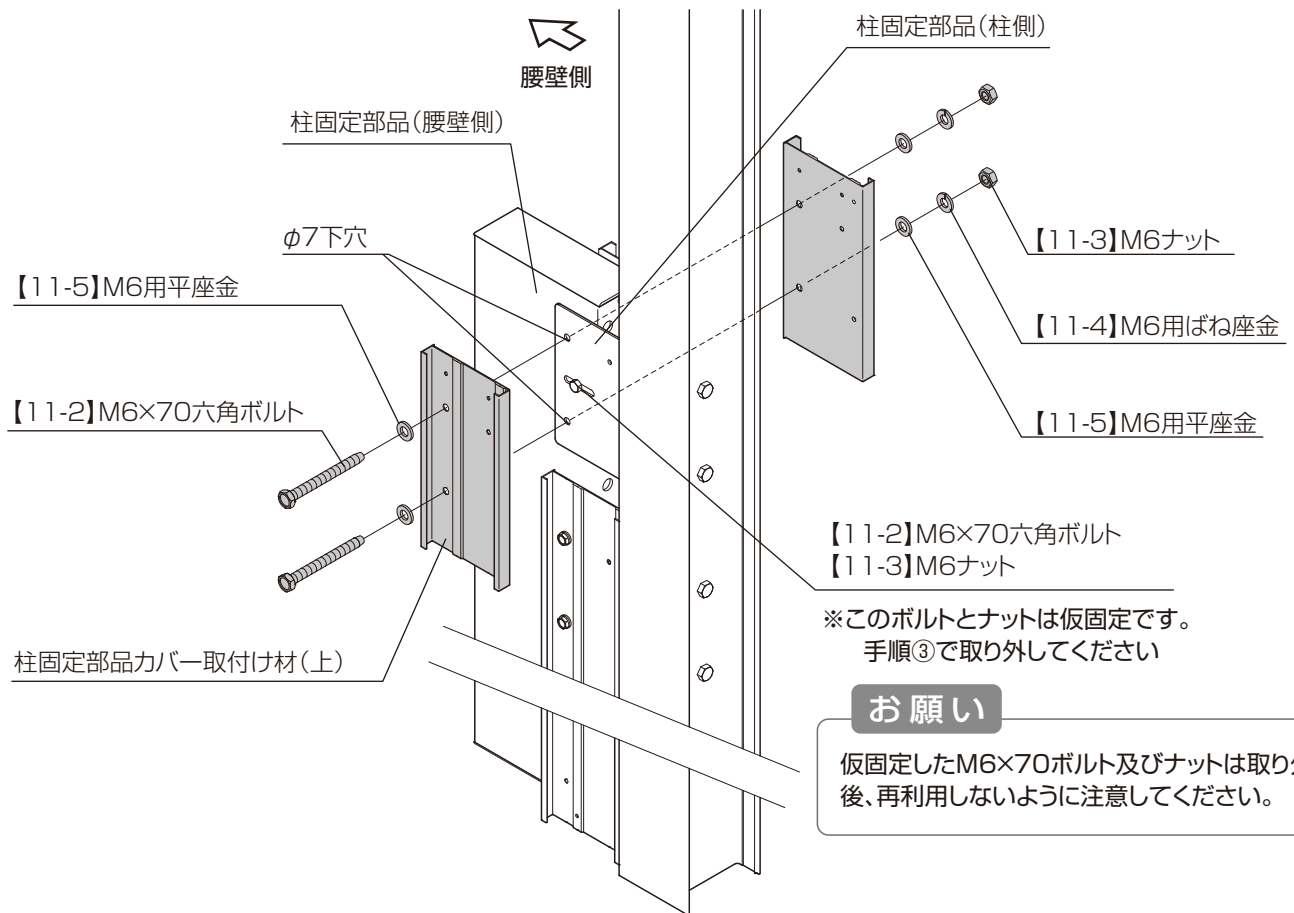
柱固定部品カバー取付け材の取付け向きがあります。



②上側の柱固定部品(柱側)の穴を写し穴にし、柱固定部品(腰壁側)の両側にφ7の下穴を開けてください。

③手順6「柱の取付け」で取付けた仮固定のボルトとナットを外してください。

④柱固定部品カバー取付け材(下)を【11-2】～【11-5】で固定してください。

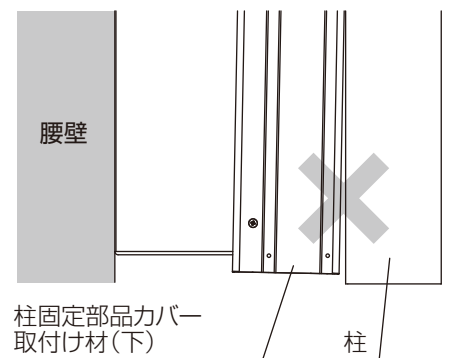


お願い

仮固定したM6×70ボルト及びナットは取り外した後、再利用しないように注意してください。

お願い

柱固定部品カバー取付け材取付け時、柱と取付け材の間に隙間が生じないように注意して取付けてください。

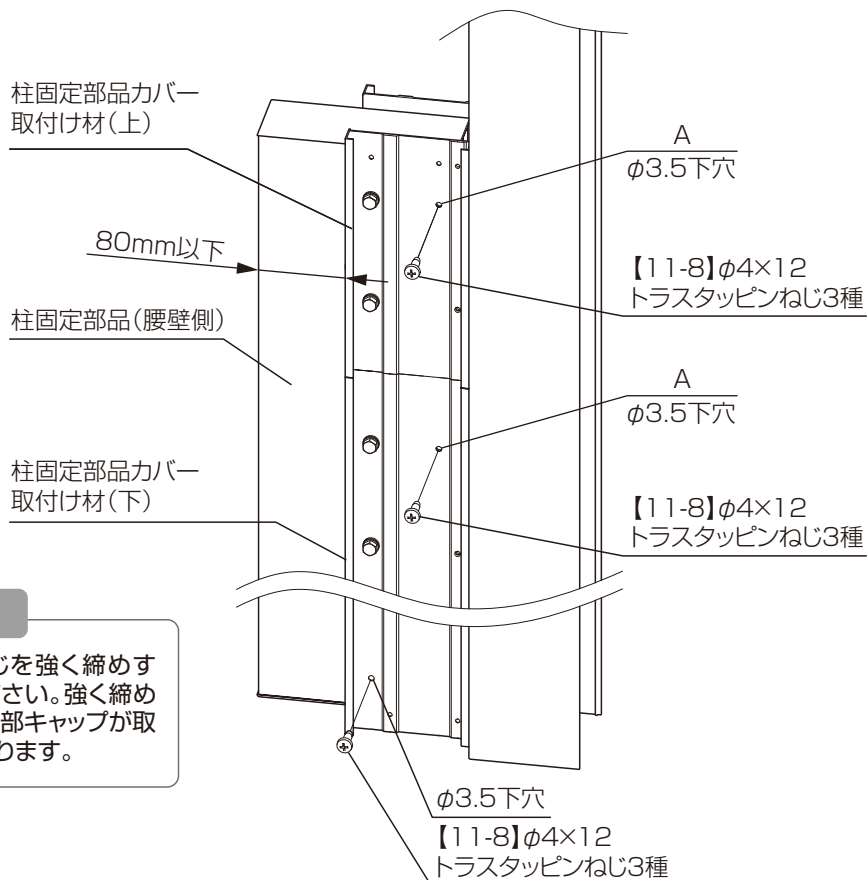


- ⑤柱固定部品カバー取付材(上)、(下)を【11-8】で固定してください。
 ※柱固定部品カバー取付材～腰壁の寸法により、ねじ止め箇所が異なります。
 ※A・B片方のみの取付のため、片方は捨て穴となります。

〈柱固定部品カバー取付材～腰壁の寸法が80mm以下の場合〉

Aの穴を使用します。

柱固定部品(腰壁側)にφ3.5の下穴を開けて、
 柱固定部品カバー取付材を柱固定部品(腰壁側)に【11-8】で固定してください。



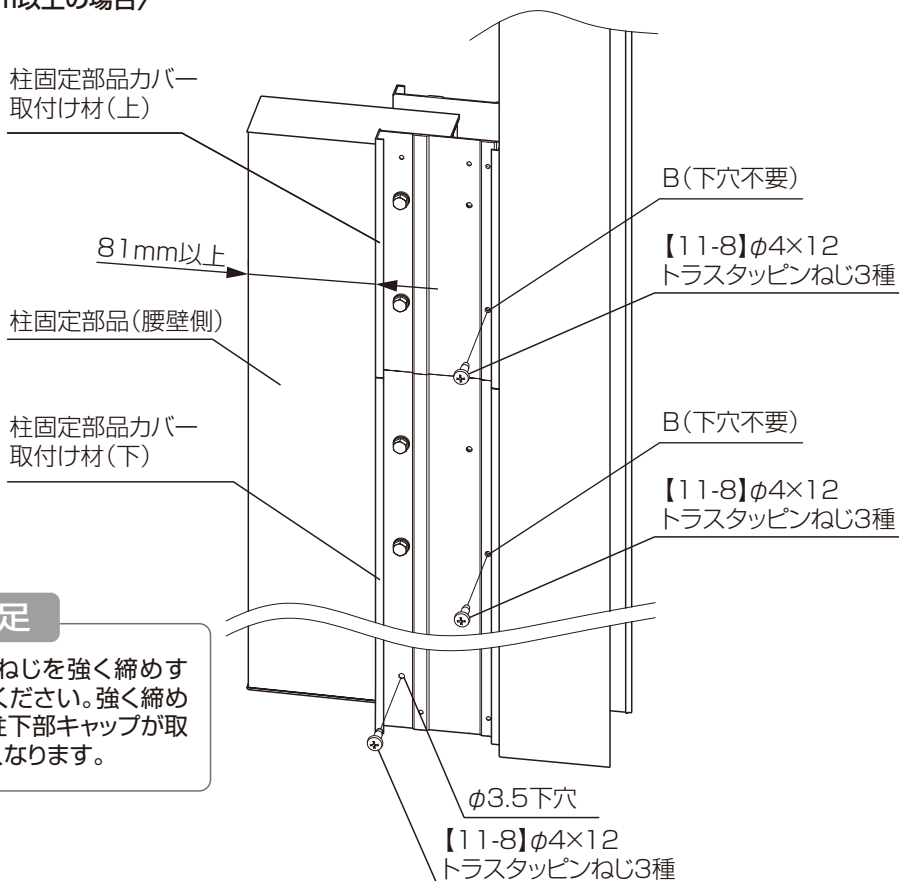
補 足

手順⑤でねじを強く締めすぎないでください。強く締めすぎると柱下部キャップが取付けづらくなります。

〈柱固定部品カバー取付材～腰壁の寸法が81mm以上の場合〉

Bの穴を使用します。

柱固定部品カバー取付材を柱固定部品(柱側)に【11-8】で固定してください。

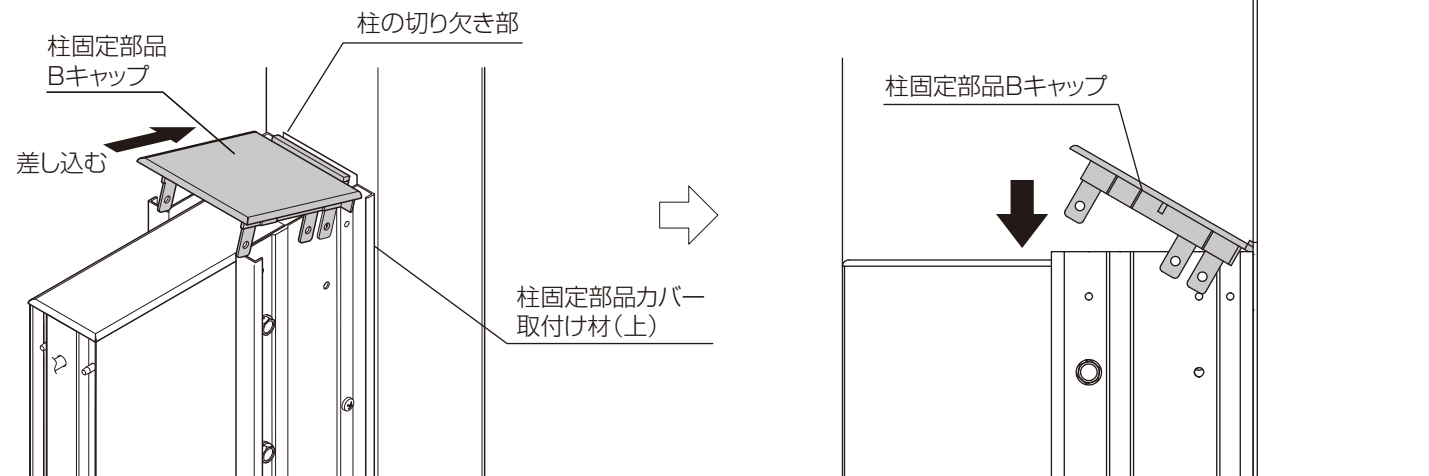


補 足

手順⑤でねじを強く締めすぎないでください。強く締めすぎると柱下部キャップが取付けづらくなります。

3 柱固定部品Bキャップの取付け

①柱固定部品Bキャップを柱の切り欠き部に差し込んでください。



②柱固定部品Bキャップを【11-8】で柱固定部品(腰壁側)と柱固定部品カバー取付け材(上)に取付けてください。

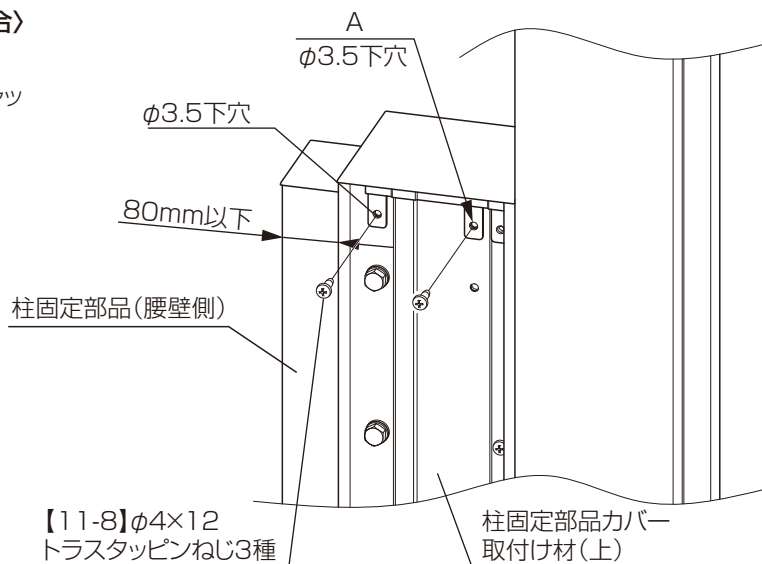
※柱固定部品カバー取付け材～腰壁の寸法により、ねじ止め箇所が異なります。

※A・B片方だけの取付けのため、片方は捨て穴となります。

〈柱固定部品カバー取付け材～腰壁の寸法が80mm以下の場合〉

Aの穴を使用します。

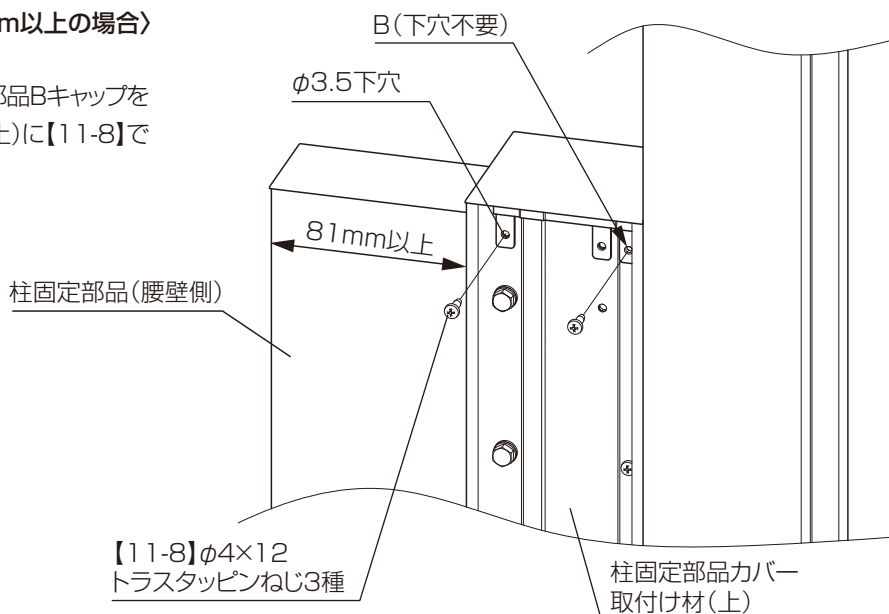
柱固定部品(腰壁側)にφ3.5の下穴を開けて、柱固定部品Bキャップを柱固定部品(腰壁側)に【11-8】で固定してください。



〈柱固定部品カバー取付け材～腰壁の寸法が81mm以上の場合〉

Bの穴を使用します。

柱固定部品(腰壁側)にφ3.5の下穴を開けて柱固定部品Bキャップを柱固定部品(腰壁側)と柱固定部品カバー取付け材(上)に【11-8】で固定してください。



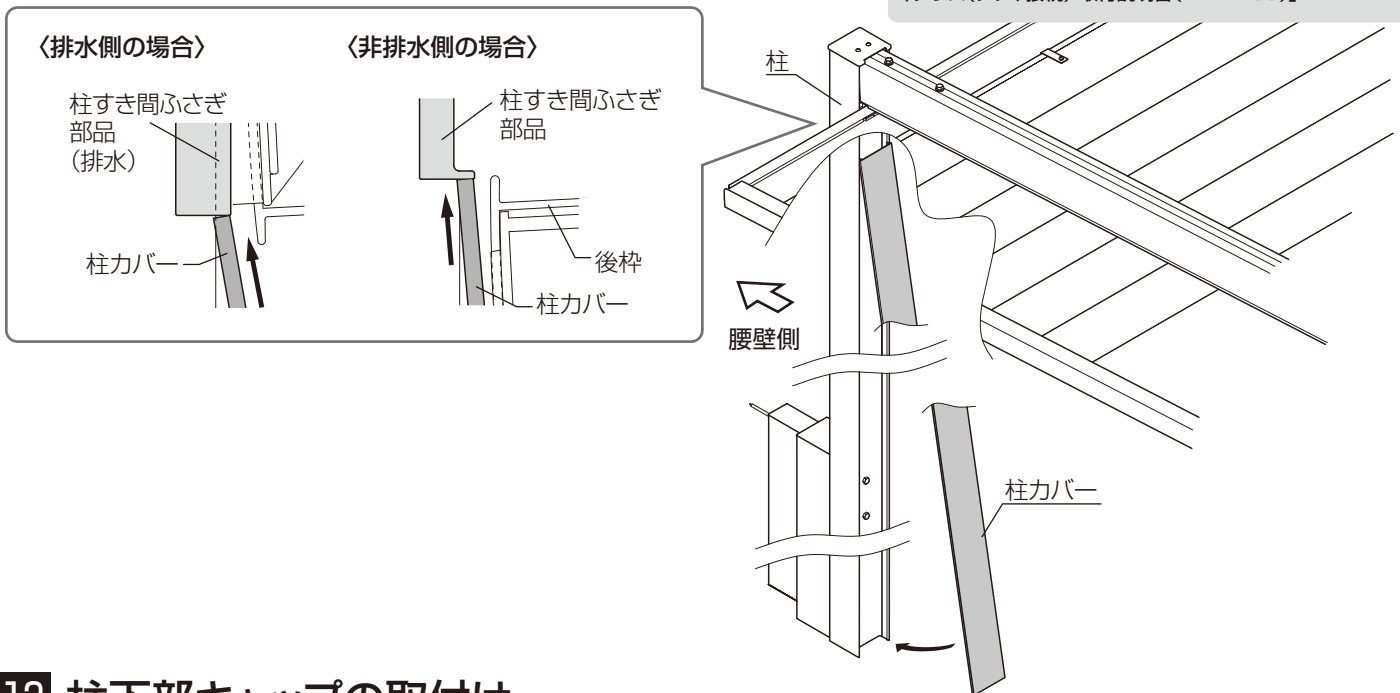
12 柱カバーの取付け

①柱カバーを後枠と柱の隙間に差し込み、柱にはめ込んでください。



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」

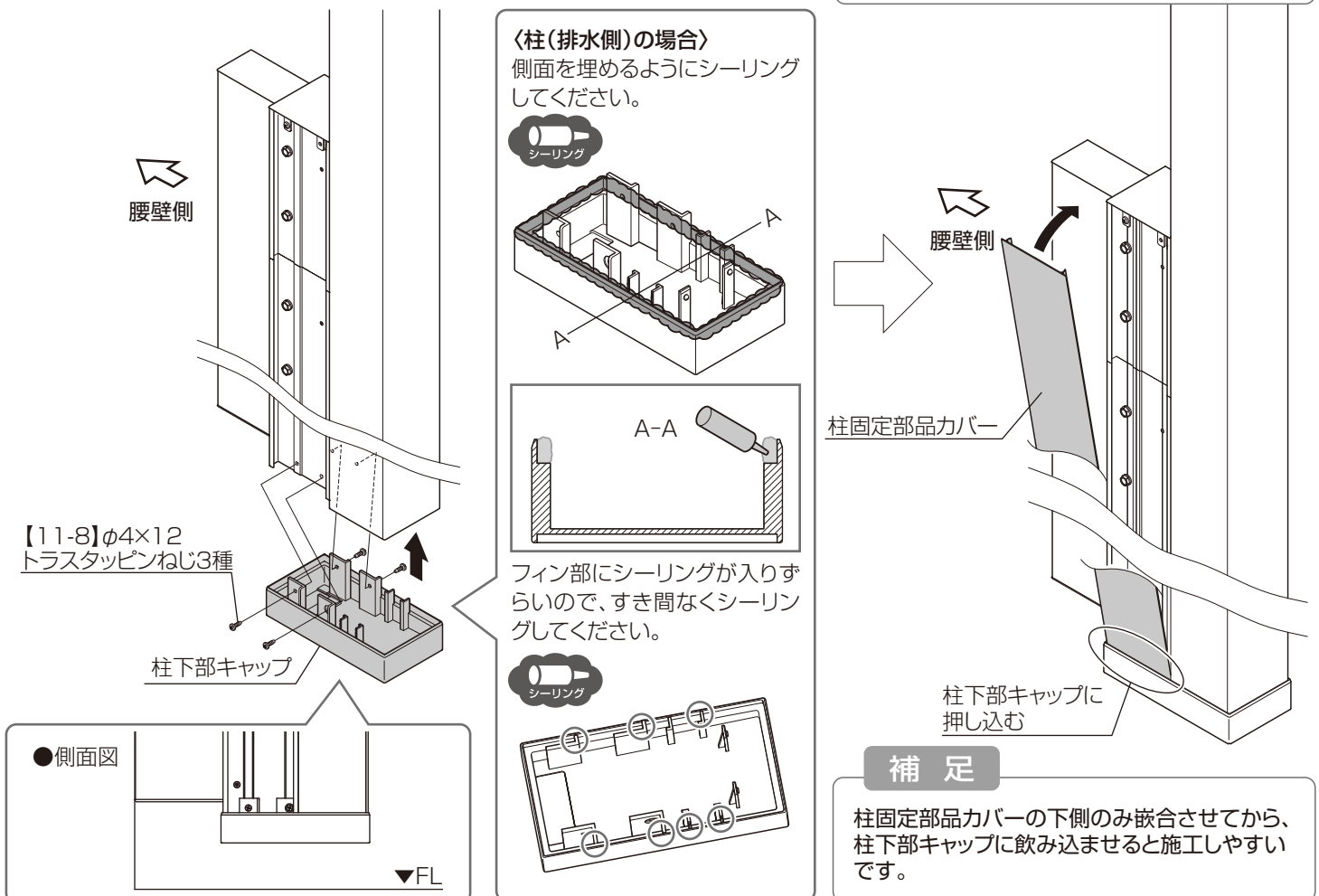


13 柱下部キャップの取付け

- ①柱(排水側)に取付ける柱下部キャップにシーリングをしてください。
- ②【11-8】で柱下部キャップを取付けてください。
- ③柱固定部品カバーを柱下部キャップに差し込み、柱固定部品カバー取付け材にはめ込んでください。

補足

排水しない柱に取付ける柱下部キャップには
シーリングは不要です。



補足

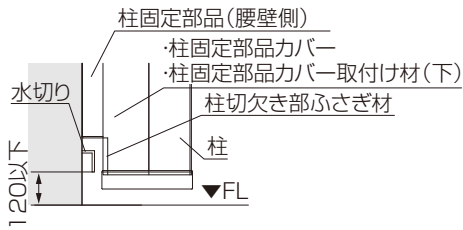
柱固定部品カバーの下側のみ嵌合させてから、
柱下部キャップに飲み込ませると施工しやすい
です。

水切り対応

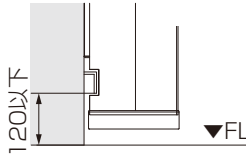
水切りの下端～FLまでの距離によって取付け方が異なります。

〈水切り下端～FLまで120mm以下の場合〉

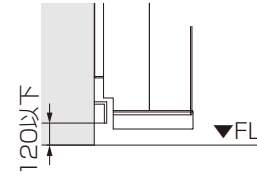
●柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉しない場合



●柱固定部品カバー取付け材(下)のみ水切りと干渉する場合

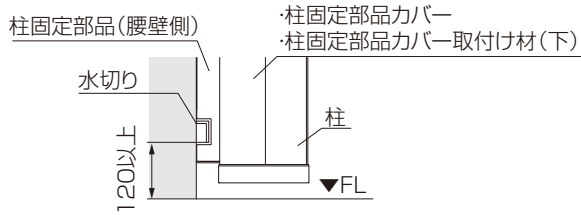


●柱固定部品カバー取付け材(下)・柱下部キャップが水切りと干渉する場合

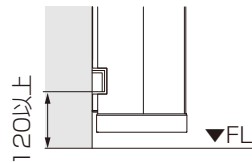


〈水切り下端～FLまで120mm以上の場合〉

●柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉しない場合



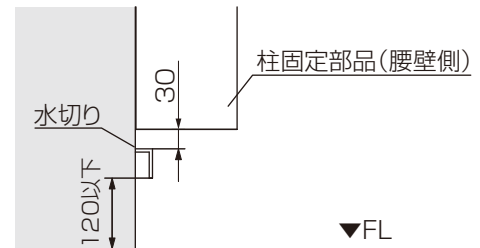
●柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉する場合



水切り下端～FLまで120mm以下の場合

1 柱固定部品(腰壁側)の事前加工

- 柱固定部品(腰壁側)を水切りから30mm上の位置で切断してください
(その他の穴加工はP.16を参照してください)



2 本体の取付け

- ①基本タイプⅠ～Ⅲ-Ⅰの施工方法を参照して取付けてください。



基本タイプⅠ～Ⅲ-Ⅰの施工
P.15～34を参照してください。

3 柱固定部の取付け

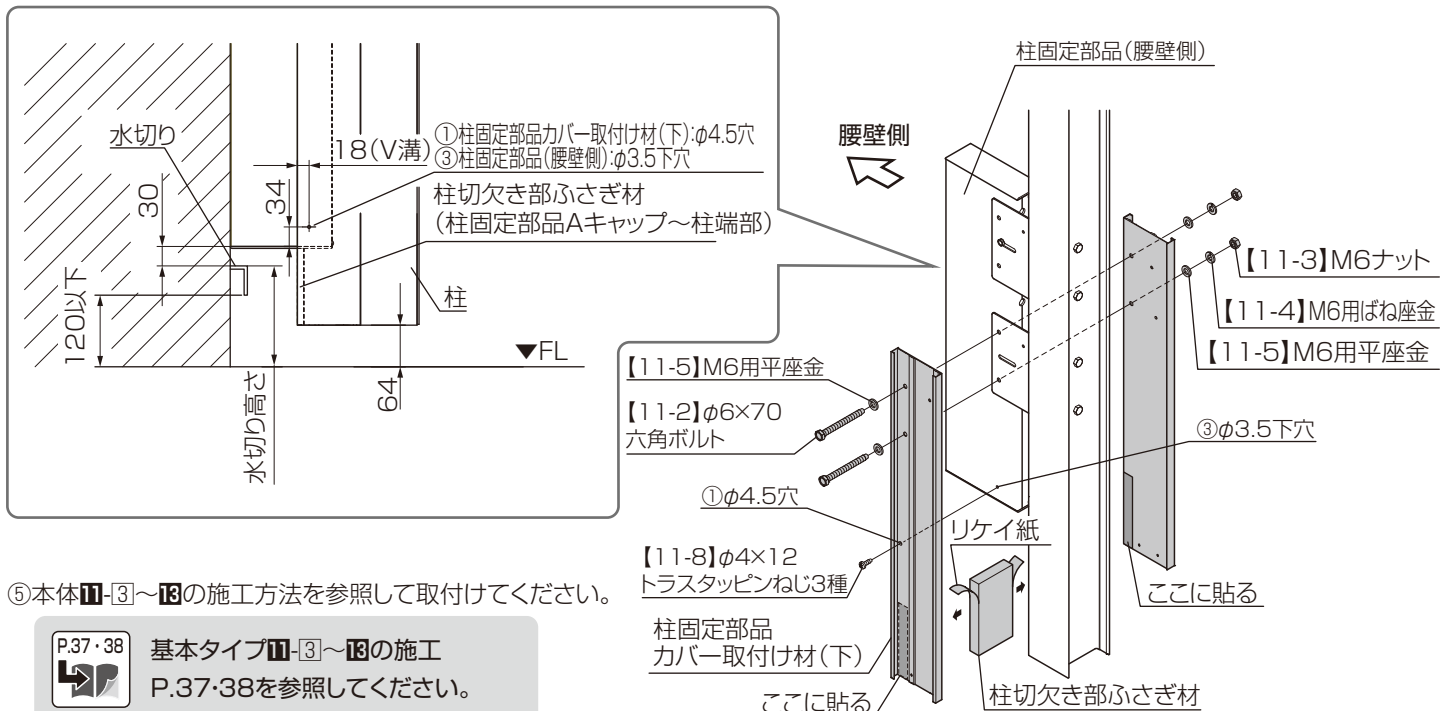
〈柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉しない場合〉

- ①柱固定部品カバー取付け材(下)にφ4.5穴を開けてください。

- ②本体Ⅲ-2-①～⑤の通り施工してください

※柱固定部品カバー取付け材(下)を取付ける際、柱切欠き部ふさぎ材を切断して柱固定部品カバー取付け材(下)に貼ってください。

- ③柱固定部品(腰壁側)の両側に柱固定部品カバー取付け材(下)のφ4.5穴を写し穴としてφ3.5の下穴を開けて、【11-8】で固定してください。



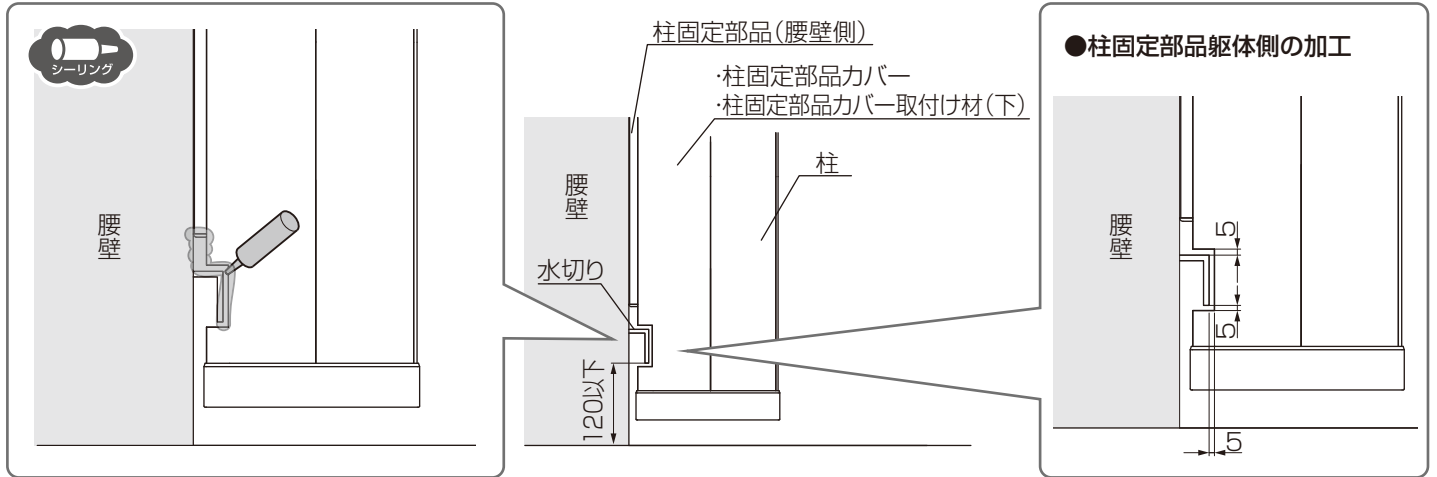
- ⑤本体Ⅲ-3～Ⅷの施工方法を参照して取付けてください。



基本タイプⅢ-3～Ⅷの施工
P.37・38を参照してください。

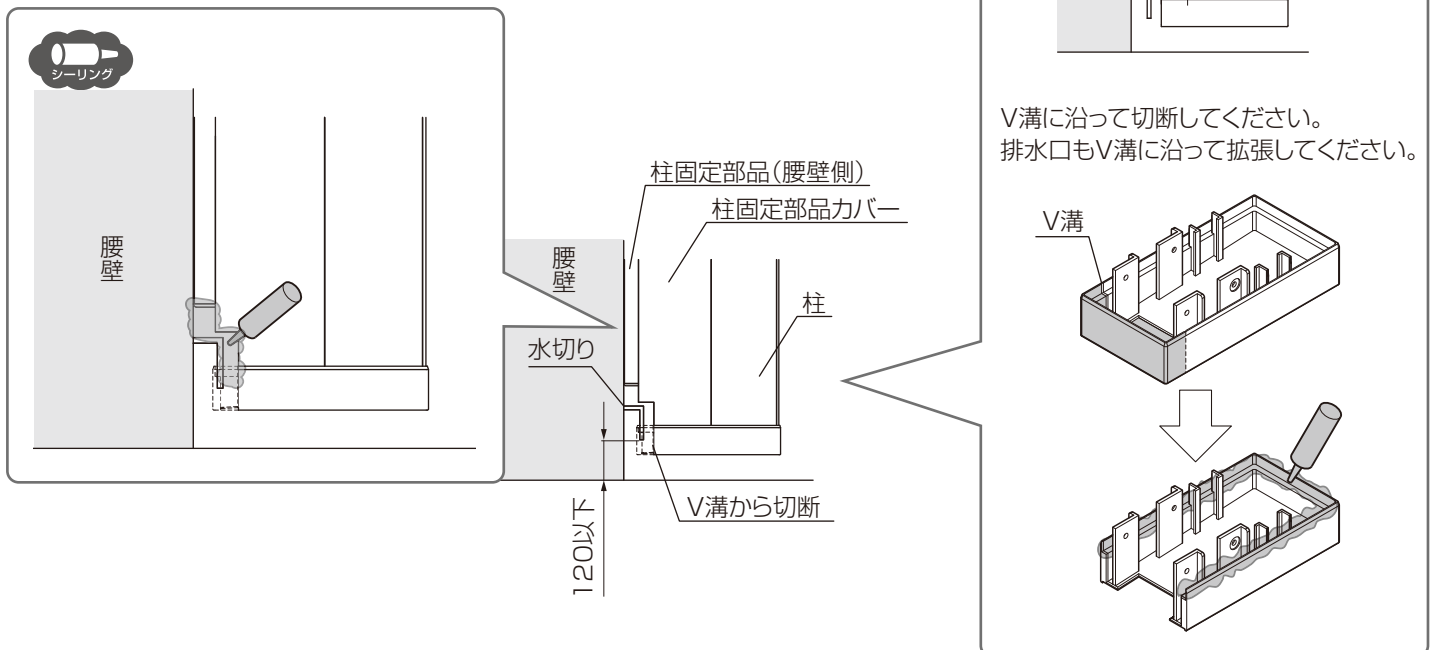
〈柱固定部品カバー取付け材(下)のみ水切りと干渉する場合〉

- ①柱固定部品カバー、柱固定部品カバー取付け材(下)は水切りと5mm隙間を確保するように、現場で切り欠き加工してください。
- ②柱固定部品カバー取付け材(下)にφ4.5の穴を開けてください。
(穴位置はP.39〈柱固定部品カバー取付け材が水切りと干渉しない場合①〉を参照してください)
- ③本体**11-2**-①～⑤の通り施工してください。
- ④柱固定部品(腰壁側)の両側に柱固定部品カバー取付け材(下)のφ4.5穴を写し穴としてφ3.5の下穴を開けて、【11-8】で固定してください。
- ⑤本体**11-3**～**11-10**の施工方法を参照して取付けてください。
- ⑥水切りと柱固定部品カバーの隙間にシーリングしてください。



〈柱固定部品カバー取付け材(下)・柱下部キャップが水切りと干渉する場合〉

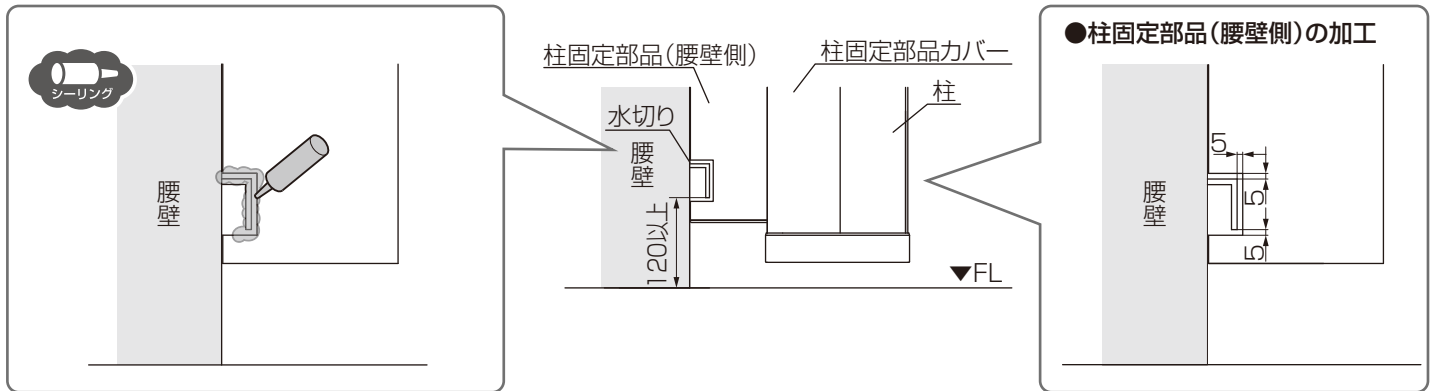
- ①柱固定部品カバー、柱固定部品カバー取付け材(下)は水切りと5mm隙間を確保するように、現場で切り欠き加工してください。
- ②柱固定部品カバー取付け材(下)にφ4.5の穴を開けてください。
(穴位置はP.39〈柱固定部品カバー取付け材が水切りと干渉しない場合①〉を参照してください)
- ③本体**11-2**-①～⑤の通り施工してください
- ④柱固定部品(腰壁側)の両側に柱固定部品カバー取付け材(下)のφ4.5穴を写し穴としてφ3.5の下穴を開けて、【11-8】で固定してください。
- ⑤本体**11-3**～**11-10**の施工方法を参照して取付けてください。
- ⑥柱下部キャップをV溝に沿って切断してください。
- ⑦柱(排水側)に取付ける柱下部キャップにシーリングをしてください。
- ⑧【11-8】で柱下部キャップを取付けてください。
- ⑨柱固定部品カバーを柱下部キャップに差し込み、柱固定部品カバー取付け材にはめ込んでください。
- ⑩水切りと柱固定部品カバー、柱下部キャップの隙間にシーリングしてください。



水切り下端～FLまで120mm以上の場合

1 柱固定部品(腰壁側)の事前加工

①柱固定部品(腰壁側)を水切りと5mm隙間を確保するように、現場で切り欠き加工してください。



2 本体の取付け

本体Ⅱ～Ⅲ-Ⅰの施工方法を参照して取付けてください。



基本タイプⅡ～Ⅲ-Ⅰの施工
P.15～34を参照してください。

3 柱固定部の取付け

〈柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉しない場合〉

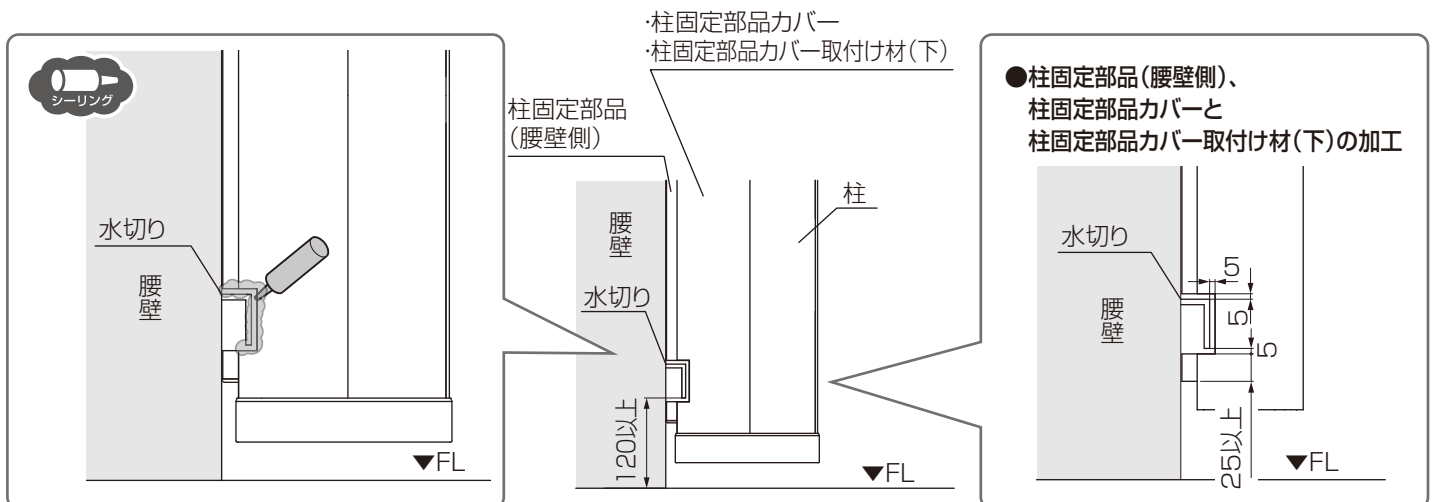
本体Ⅲ-2～Ⅲの施工方法を参照して取付けてください。

〈柱固定部品カバー取付け材(下)が水切りと干渉する場合〉

①柱固定部品カバー、柱固定部品カバー取付け材(下)は水切りと5mm隙間を確保するように、現場で切り欠き加工してください。

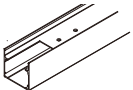
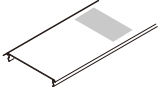
②本体Ⅲ-2～Ⅲの施工方法を参照して取付けてください。

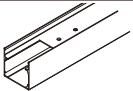
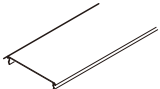
③水切りと柱固定部品カバーの隙間にシーリングしてください。

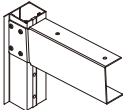


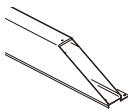
梱包明細表

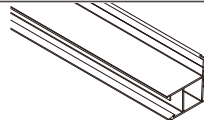
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

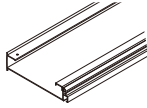
【1】 柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱		1
柱カバー		1

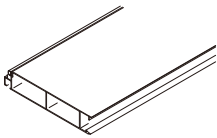
【2】 排水柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱(排水用)		1
柱カバー(排水用)		1

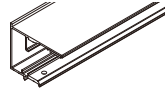
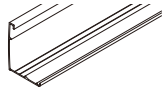
【3】 梁柱固定金具		員数
名称	略図	2本入
梁柱固定金具		左右各1

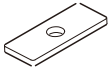



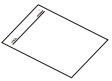
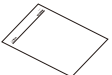
【4】 梁セット		員数
名称	略図	2本入
梁		左右各1





【5】 壁付枠セット		員数
名称	略図	1本入
壁付枠		1

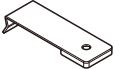

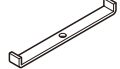


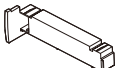
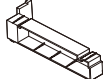








【6】 後枠セット		員数
名称	略図	1枚入
後枠		1

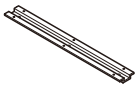
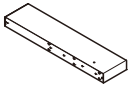







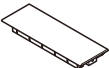

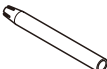









【7】 屋根材セット		員数	
名称	略図	2枚入	3枚入
屋根材		2	3

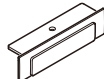

【8】 造り付け用側枠セット		員数
名称	略図	2本入
造り付け用側枠		1
造り付け用側枠カバー		1


【9】 フレーム組立部品セット		員数			
名称	略図	躯体出幅4.5尺	躯体出幅6尺	躯体出幅7.5尺	躯体出幅9尺
柱上部キャップ		2	2	2	2
梁キャップ		2	2	2	2
裏板		13	19	26	33
梁スリーブ		-	-	2	2
柱すき間ふさぎ部品		1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品 (排水)		1	1	1	1
穴ふさぎシール (10枚入)		1	1	1	1
取付説明書		1	1	1	1
取扱説明書		1	1	1	1

【9】 フレーム組立部品セット (つづき)		員数			
名称	略図	躯体出幅4.5尺	躯体出幅6尺	躯体出幅7.5尺	躯体出幅9尺
【9-1】M6×20 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		13	19	26	33
【9-2】M8×30 六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		10	10	10	10
【9-3】φ5×20 トラスタッピンねじ3種		6	6	6	6
【9-4】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		—	—	8	8

【10】 屋根組立部品セット		員数
名称	略図	
後枠固定金具		4
後枠取付け金具		2
後枠取付け金具用 裏板		2
造り付け用 壁付枠コーナーキャップ L		1
造り付け用 壁付枠コーナーキャップ R		1
造り付け用 後枠コーナーキャップ L		1
造り付け用 後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【10-1】φ5×20 トラスタッピンねじ3種		2
【10-2】φ4×13 ナベドリルねじ 止水ワッシャー付		4
【10-3】φ4×13 平ドリルねじ		24
【10-4】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		1
【10-5】φ6×90 六角タッピンねじ1種		13
【10-6】φ6用平座金		13

【11】柱固定部品セット		
名称	略図	員数
柱固定部品ベース材		1
柱固定部品(腰壁側)		1
柱固定部品(柱側)		2
柱固定部品カバー		2
柱固定部品カバー取付け材(上) L		1
柱固定部品カバー取付け材(上) R		1
柱固定部品カバー取付け材(下) L		1
柱固定部品カバー取付け材(下) R		1
柱下部キャップ		1
柱固定部品Aキャップ		2
柱固定部品Bキャップ		1
ねじ取付治具		2
柱切欠き部ふさぎ材		1
【11-1】M6×20六角ボルト緩み止め止水ワッシャー付		4
【11-2】M6×70六角ボルト		5
【11-3】M6ナット		5
【11-4】M6用ばね座金		7
【11-5】M6用平座金		11
【11-6】φ6×90六角タッピンねじ1種		3
【11-7】φ5×12トラスタッピンねじ3種		6
【11-8】φ4×12トラスタッピンねじ3種		17

【12】柱移動部品セット (オプション)		
名称	略図	員数
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【12-1】φ5×10トラスタッピンねじ3種		1

【13】穴ふさぎシールセット(オプション)		
名称	略図	員数
穴ふさぎシール(10枚入)		1

【14】M6×90六角ドリルねじセット		
名 称		員数
φ6×90六角タッピンねじ1種		10
M6用平座金		10

【15】M6×70六角ドリルねじセット		
名 称		員数
φ6×70六角タッピンねじ1種		10
M6用平座金		10

【16】オールアンカーセット		
名 称		員数
M6×60オールアンカー		10
M6用平座金		10
M6用ばね座金		10
M6用袋ナット		10

【17】潰れ防止部品セット		
名 称		員数
潰れ防止部品		10

【18】スパンサイディング用バックアップ材セット		
名 称		員数
スパンサイディング用バックアップ材		120

【19】外壁対応部品セット		
名 称		員数
M6用平座金		10
M6×150六角コーチボルト		10

取説コード
MAN-722
 MAN-722
 202406_1048